

令和5年度 第3回 浦添運動公園再整備計画検討委員会



修正資料

日時：令和5年8月21日（月）15：00～

浦添市 市民部経済文化局 文化スポーツ振興課

都市建設部 美らまち推進課・新施設建設室

目次

1. 前回委員会の内容と本日の論点
 - (1) 前回委員会での主なご意見
 - (2) 前回委員会での主なご意見への対応
 - (3) 本日の委員会の論点
2. パブリックコメント
 - (1) 実施概要
3. 基本構想・基本計画（案）
 - (1) 再整備の方針
浦添運動公園の将来像
浦添運動公園の再整備の方針
 - (2) ゾーニング・動線計画
利用者の利用状況・意向
ゾーニング
動線計画
ゾーン別・テーマ別整備の方針
施設別整備の方針
- (3) 運営管理計画
民間活力の活用の方針
運営管理手法の検討フロー
民間企業へのサウンディング調査の実施
- (4) 今後のスケジュール
今後のスケジュール
ロードマップ
4. エントランスゾーンの整備（案）
5. 今後の再整備の進め方

1. 前回委員会の内容と本日の論点

(1) 前回委員会での主なご意見



① 利用者の視点に関するご意見

- ・ 普段から公園を利用している市民の立場としては、駐車場不足で利用できないことが課題だと強く感じている
- ・ 公共交通の利用促進に関して、既存のバス会社等の公共交通を利用するのか、それともデマンドバスやコミュニティバスなどの、市として公共交通を運行する方針などあるのかお聞きしたい。
- ・ 新市民体育館及び陸上競技場の整備で、5年ほど陸上競技場を利用できないことになると考えられるが、利用できない期間の対応はどのように考えているのか。
- ・ 陸上競技場の利用制限に関して、設計業務を出す段階で、陸上競技場が利用できない期間の短縮策や、土日だけ利用できる工事の仕方など、プロポーザルで提案してもらうこともできるのではないのか。
- ・ 公園内は高低差があることから、車椅子利用者などが、公園内を自力で移動できるような動線への配慮が望まれる。
- ・ 花や植物があり、ゆっくり過ごせる公園へのニーズがあることから、障がいのある方もない方も等しくゆっくり過ごせる空間づくりを行ってほしい。
- ・ 基本設計に入っていく段階で、今後の検討にあたって、障がいのある方の意見を聞き、反映することでやさしい公園になると考える。
- ・ 金武町の陸上競技場ではエレベーターや福祉トイレ、スロープなど整備されており、福祉の視点からも利用しやすい施設であったことから計画の参考にしてほしい。

③ 財政・予算の視点に関するご意見

- ・ 新市民体育館について、施設は公共で整備し、運営管理だけを民間に任せる場合、どこまで稼げる・楽しめる施設にできるか懸念がある。
- ・ スターバックスへのヒアリングから、ドライブスルー方式が条件となる中で、道路付けできるスペースを公園内に確保できるのかわかりにくい。
- ・ 民間活力の導入について、公共が施設整備を予定するのであれば、管理運営以外の部分を、早い段階で企業の意見を取り入れなければできることが限定されてしまう。
- ・ 民間による施設整備にも取り組むのであれば、公園の施設配置が決まる前に企業の意見を聞いて検討を進める必要がある。
- ・ 指定管理料の低減を目的に、PPP、PFI手法を検討されているが、新市民体育館の活用イメージとして、プロスポーツの本拠地などで利用することなどが示されないことには、利用者数や運営時間が分からず、民間からの活用案が示されない可能性があるのではないかと懸念される。
- ・ コンセッションの可能性を探るにあたっては、市としてどこまでの運営権を売却するかを明確にしておく必要がある。
- ・ PPP、PFIについて、PPP、PFIに関する方針や条件などを早い段階で明確にすることが望ましい。民間企業へのヒアリングを行いながら条件等を検討していく必要がある。
- ・ 施設整備について、PFIで行うということであれば、省エネになる資材を使うことや、ソーラーパネルを設置することを評価できるような形で公募することも考えられる。

② 施設の視点に関するご意見

- ・ 今後の方向性として、公共交通の利用促進を進めるのか、駐車場の増設を行うのか。
- ・ 駐車スペースに関して、駐車場の利用状況や、既存の駐車台数からどのくらいの追加が必要なのか、どこの空間を利用する想定なのか把握する必要がある。
- ・ 駐車場の有料化も、維持管理の方針と併せて検討していく必要がある。
- ・ 駐車スペースに関して、本来であれば、公共交通施策と土地利用、駐車場の料金設定を、セットで考え、議論することが望ましい。
- ・ 浦添市の人口規模や立地を考慮すると、必要に応じて駐車場料金はとるべきだと考える。
- ・ 市民や市外からの利用者、観光客に対する料金設定・施策を検討する必要がある。また、有料化にする場合、駐車場のマネジメントについても検討する必要がある。
- ・ 陸上競技場のスタンドは、周囲を樹木が覆い木陰が出来て過ごしやすいい空間になっているため、保全が望まれる。一方で、メインスタンドには木陰や日除けがないため、利用者が快適に利用できる空間の整備を検討してほしい。
- ・ 陸上競技場の観客席は、樹木があることで、木陰があり過ごしやすいい空間になっているが、競技を観戦するという点では、樹木で視界が遮られ、観戦に影響がある。
- ・ オープンスペースの適切な運用配置、駐車スペースの増設等の解決策が示されているが、公園内のエリアを、どのように位置づけていくのが重要である。
- ・ 公園の防災機能について、公園だけではなく、他の公園やオープンスペースも含めて考える必要がある。
- ・ 人流データを分析して、公園利用者の滞在時間などが把握出来れば、滞在時間に応じて、公園内で必要な機能等が検討できるのではないかと。
- ・ 公園内の樹木について、園路に沿った部分では踏圧により土が固くなることで樹木が枯れたり、樹形が悪くなっているケースが見られる。工事にあたっては、土壌改良をすること等望まれる。また、利用者が樹木の根を踏まないような動線の検討が必要である。
- ・ 陸上競技場内で自治会対抗の陸上競技大会や県民体育大会など開催する際に、テントを設営するための幅がないことや、樹木の根が邪魔になり設営が難しい状況であることから、再整備の検討の際にはテント設営等についても考慮してほしい。

④ スポーツ行政の視点に関するご意見

- ・ 新市民体育館や陸上競技場は、市民だけのための施設ではないので、スポーツ庁や経済産業省が取り組む、スタジアム・アリーナ改革の要素等も取り入れる必要がある。
- ・ スポーツ観光交流拠点の形成とあることから、観光面が重視されると思うが、運動公園は市民の健康や競技団体の育成等に取り組んでいるところであり、観光だけではなく、市民や競技団体の利用に配慮した整備を行ってほしい。
- ・ 沖縄アリーナがバスケットで独自色を出しているように、新市民体育館はハンドボールを前面に打ち出すことで、他周辺施設と差別化を図ることが望まれる。

⑤ その他のご意見

- ・ 第三回の委員会では、解決策について、具体的に、いつ、どの段階で反映されるのかが提示されると良いと考えるが、取り組むことができるのかを含めて、解決策をどこに、どのように、どのタイミングで実施するのが現時点では見えにくい。また、観るスポーツの施設整備以外の解決策は、新市民体育館の整備と切り分けた位置づけで良いのかお聞きしたい

1. 前回委員会の内容と本日の論点

(2) 前回委員会での主なご意見への対応

前回委員会での主なご意見について、基本構想・基本計画での対応と、次年度以降の業務で対応するものに整理。

① 利用者の視点に関するご意見

障がい者も利用しやすい施設、空間の検討が必要

類似施設へのヒアリングを実施し、整備方針として整理（第3回委員会で報告）

② 施設の視点に関するご意見

駐車場の拡充や公共交通との連携の検討が必要

陸上競技場のメインスタンドの検討が必要

運動公園の防災機能の検討が必要

利用者の利用状況を考慮した機能や空間の検討が必要

整備方針として整理（第3回委員会で報告）

駐車場有料化について、運営管理とあわせて検討が必要

整備期間中に利用できないことへの対応が必要

近隣市町村の公園・施設管理者に協力依頼済。工事受注企業と工事計画の調整など、利用制限の範囲・期間の縮減を検討していく。【第2回委員会での対応を再掲】

③ 財政・予算の視点に関するご意見

民間企業へのヒアリングを行いながらPPP/PFIに関する方針や条件の検討が必要

民間企業へのサウンディングを実施（第3回委員会で報告）。引き続き、令和5年度に運営管理手法に関する検討を実施。

④ スポーツ行政の視点に関するご意見

国のスタジアム・アリーナ改革等の要素を取り入れる検討が必要

⑤ その他のご意見

長期を見据えた再整備計画の検討が必要
解決策の実施時期の検討が必要

長期計画も見据えつつ、再整備の方針を整理し、解決策の実施時期案をロードマップで整理（第3回委員会で報告）

委員会でご意見を聴取したい事項・論点など

検討作業の流れ

現状把握

- ・ 既存調査等の整理
- ・ 上位関連計画
- ・ 現地踏査

骨子案作成

- ・ ヒアリング・意向調査等
- ・ 課題及び解決策の検討 等

素案作成

- ・ 各施設の整備方針、規模
- ・ ゾーニング、動線計画 等

開催日：令和4年12月26日

■ 第1回検討委員会でご意見を聴取したい事項・論点など

浦添運動公園再整備計画の基本構想・基本計画に策定にあたり、現状の把握及び取り組むべき方向性（案）について、ご意見を聴取したい。

開催日：令和5年4月28日

■ 第2回検討委員会でご意見を聴取したい事項・論点など（案）

浦添運動公園再整備計画の基本構想・基本計画に策定にあたり、課題（案）及び解決策（案）について、ご意見を聴取したい。

開催日：令和5年8月21日

■ 第3回検討委員会でご意見を聴取したい事項・論点など（案）

浦添運動公園再整備計画の基本構想・基本計画に策定にあたり、これまで確認してきた「現状」「方向性」「課題」「解決策」を踏まえた基本構想・基本計画について、ご意見を聴取したい。

再整備計画の基本構想・基本計画の策定

※ご意見につきましては、そのキーワードに関するものやその他のものでもかまいません。

- 基本構想・基本計画（案）のその目的、内容等について、広く市民の意見又は提案等を求めるため、以下の内容でパブリックコメントを実施しました。
- 実施の結果、市民等からの意見提出はありませんでした。

■ 実施期間

令和5年7月18日（火）～令和5年8月17日（木）

■ 閲覧方法

- ①市ホームページ
- ②浦添市役所 5階 文化スポーツ振興課
- ③浦添市役所 8階 市政情報センター

■ 意見の提出方法

意見は、様式に記載の上、以下の方法で提出可能。

- ①電子メール
- ②浦添市役所 5階 文化スポーツ振興課に提出
- ③郵送
- ④ファクシミリ

■ パブリックコメント資料「浦添運動公園再整備基本構想・基本計画（案）」

（目次構成）

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1 はじめに | 2 浦添運動公園再整備について |
| 3 現状及び取り組むべき方向性 | 4 再整備に向けての課題及び解決策 |
| 5 再整備の方針 | 6 ゾーニング・動線計画 |
| 7 運営管理計画 | 8 今後のスケジュール |

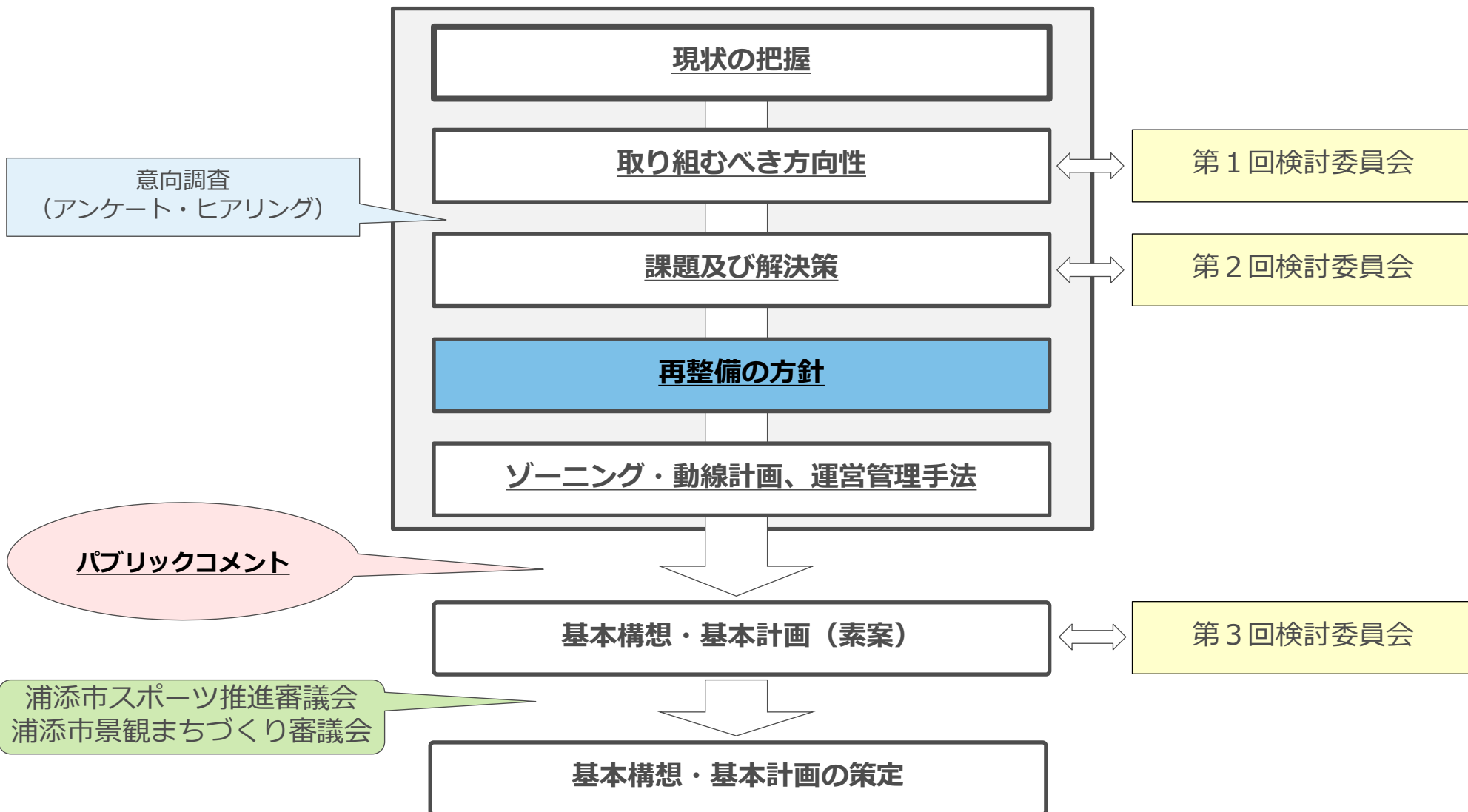
■ 実施結果

意見提出数 0 件

3. 浦添運動公園再整備基本構想・基本計画（案）

(1) 再整備の方針【浦添運動公園の将来像】

- 再整備に向けての課題及び解決策を踏まえ、浦添運動公園の将来像と再整備の方針を示します。

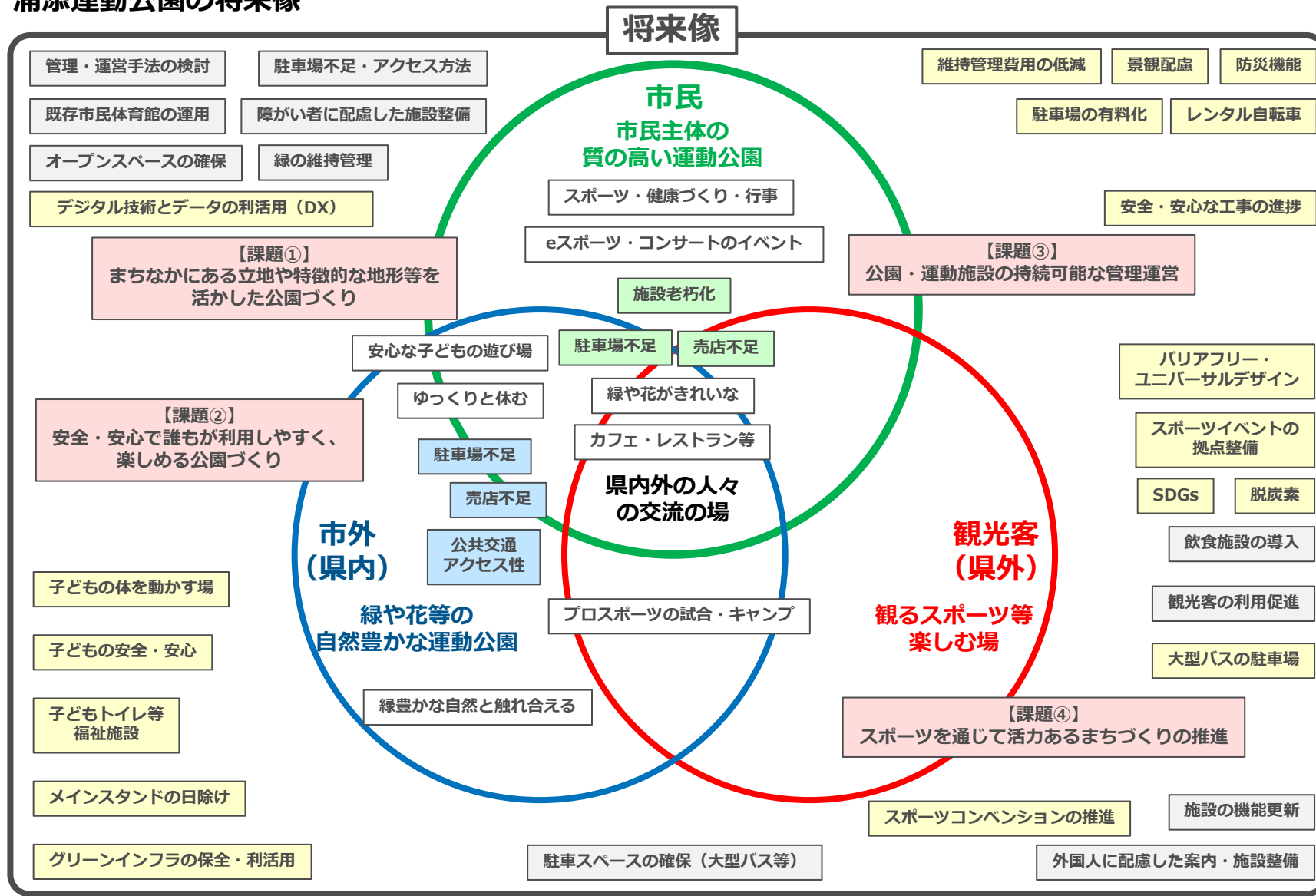


3. 浦添運動公園再整備基本構想・基本計画（案）

(1) 再整備の方針【浦添運動公園の将来像】

※第2回委員会資料から「デジタル技術とデータの利活用（DX）」「SDGs」「脱炭素」を追加

① 浦添運動公園の将来像



凡例

- 市民の意向、ニーズ
- 市外の意向、ニーズ
- 観光客の意向
- 各意向で、共通するところに位置付け
- 関係機関・団体の意見
- 庁内関係部局の意見
- 課題案

3. 浦添運動公園再整備基本構想・基本計画（案）

（1）再整備の方針【浦添運動公園の将来像】

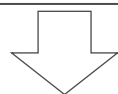
- ・ 将来像のイメージから再整備で目指す将来像とそれを実現するための再整備の方針を定めます。

② 将来像の基本的な考え方

基本的な考え方

- ・ 市民がスポーツや健康づくり、イベントで利用できる運動公園
- ・ 緑や花等の豊かな自然とふれあい、ゆっくり休息できる運動公園
- ・ 子どもや高齢者・障がい者等の誰もが安全・安心に利用しやすい運動公園
- ・ 質の高いサービスを持続的に提供できる運動公園
- ・ スポーツを通じて県内外の人々が交流し活力ある運動公園
- ・ 本市の新たなスポーツ・観光交流の拠点の形成

③ 将来像と再整備の方針



目指すべき将来像

スポーツ・健康づくりを通じた交流、学びと遊びを備えた賑わいを創出する新たな市民の運動公園
—市民をはじめ、全ての利用者が自然に親しみ憩いと、運動を通じた人々の交流、賑わいと地域の活性化を創出する運動公園を目指す！—

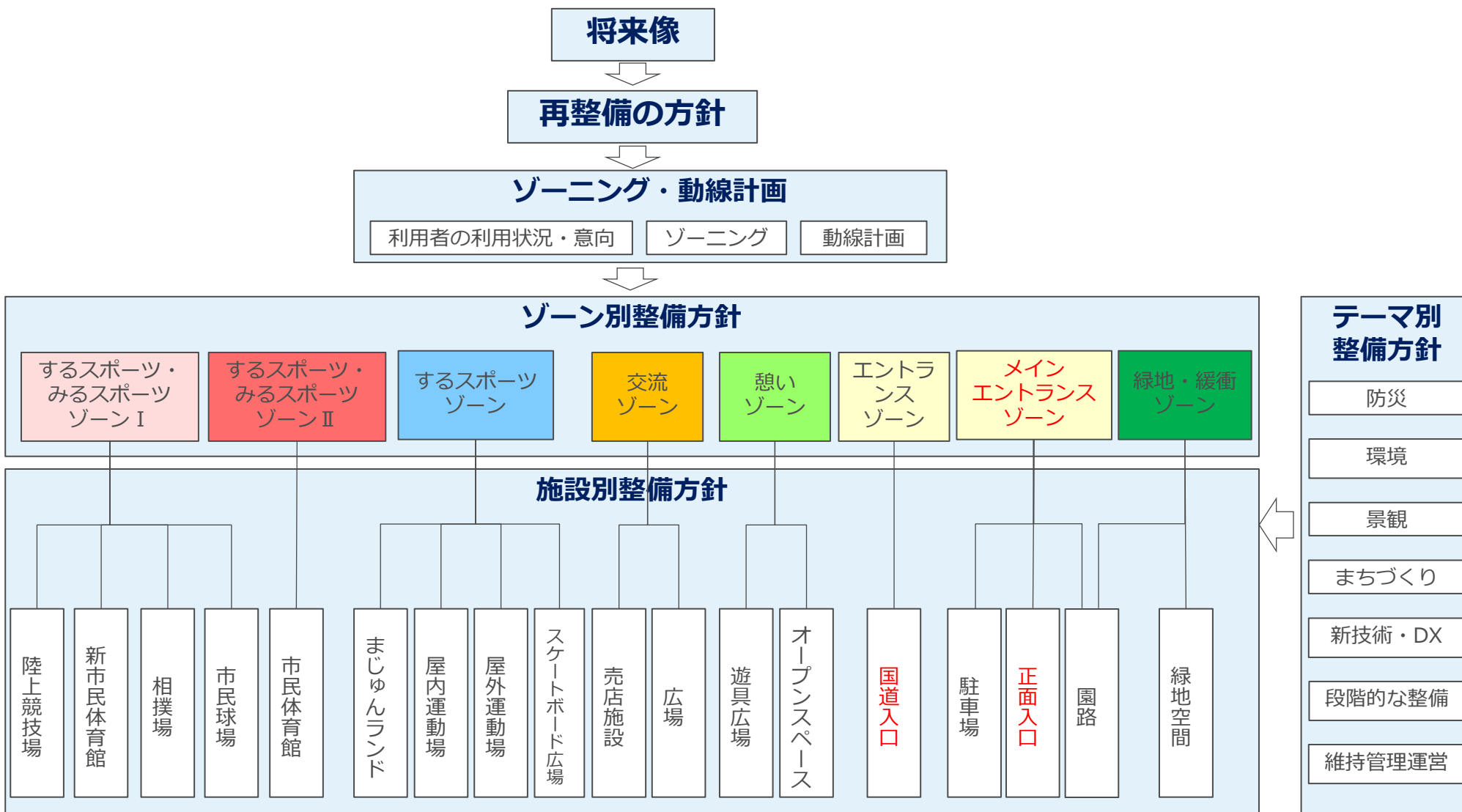
再整備の方針

- **再整備の方針 1** まちなかにある立地や自然・地形を活かし、スポーツを中心に多様な利用に対応できる運動公園・施設の整備
- ▲ **再整備の方針 2** 誰もが安全・安心に利用しやすい運動公園・施設の整備
- ◆ **再整備の方針 3** 質の高いサービスを持続的に提供できる管理運営の推進
- **再整備の方針 4** 運動公園を拠点にスポーツを通じた活力あるまちづくりの推進
- ★ **再整備の方針 5** 段階的な整備による着実な実施

3. 浦添運動公園再整備基本構想・基本計画（案）

（1）再整備の方針【浦添運動公園の将来像】

・公園内をゾーン分けし、全体の将来像と再整備の方針に基づき、ゾーン別及び施設別の方針を示します。



3. 浦添運動公園再整備基本構想・基本計画（案）

（1）再整備の方針【浦添運動公園の将来像】

- ・ 将来像を実現するための再整備の方針にもとづき、運動公園の課題解決を図ります。

●再整備の方針 1

まちなかにある立地や自然・地形を活かし、スポーツを中心に多様な利用に対応できる運動公園・施設の整備

利用者の利用目的・形態に応じた利用空間の整備を推進

市民のニーズであるスポーツ・健康づくりの空間整備を基本とし、他市町民や観光客、障がい者のニーズや公園利用の現状等を鑑み、より公園利用の促進を図るため、公園利用者の目的・形態に応じた空間整備を推進する。

グリーンインフラとしての保全・利活用の推進

上位関連計画の取組みやみどりの拠点としての位置付け、環境、防災の観点から、まちなかの立地や特徴的な地形等を活かした、緑地並びに自然景観の維持・保全を推進する。

人と人とのつながり、リアルな交流を生み出す場の創出

新型コロナウイルス感染症の拡大とデジタル化の急速な進展等により、人々の生活様式は大きく変化・多様化する中、ニューノーマル社会への対応として、スポーツを核に住民・観光客・軍人・軍属等のつながりや交流を生み出す拠点づくりを行う。

利用者のアクセス性向上、駐車スペースの確保の検討

市民等や関係団体の公共交通のアクセス性や駐車スペースの不足に関するニーズ、イベント時の混雑状況等により、公園利用者の利便性の向上を図る整備や運用等を検討する。

▲再整備の方針 2

誰もが安全・安心に利用しやすい運動公園・施設の整備

老朽・陳腐化した施設・設備の魅力向上・機能強化の推進

公園の供用開始後、30年以上経過し、施設・設備の老朽化や陳腐化が見受けられ、市民等のニーズでも老朽化の対応が求められている。施設・設備の更新や機能の拡充・強化等による公園の魅力向上を図る取組みを推進する。

観るスポーツの楽しみ方の提供

上位関連計画のスポーツ成長産業化の展開への呼応や本市の新たな観光・交流拠点の形成を図るため、観るスポーツに対応した施設整備等を推進する。

便益施設（飲食店等）の魅力・利便性向上の検討

園内施設の利用状況や市民、観光客による売店不足のニーズなど、売店や飲食店の設置が求められている。公園の魅力、利便性の向上を図る便益施設の設置を検討する。

既存市民体育館の今後の運用の検討

新市民体育館の供用開始に伴う既存市民体育館の運用について、施設の老朽化や利用人数、園内の施設配置を鑑み、今後の方針・計画策定を検討する。

3. 浦添運動公園再整備基本構想・基本計画（案）

（1）再整備の方針【浦添運動公園の将来像】

- 将来像を実現するための再整備の方針にもとづき、運動公園の課題解決を図ります。

◆再整備の方針3

質の高いサービスを持続的に提供できる管理運営の推進

公園・運動施設・設備の適切な維持管理・更新を検討

限られた財源の中で、公園利用者の多様なニーズや利用目的、安全・安心な利用等に柔軟かつ適切に対応していくため、公園・施設・設備の適切で持続可能な維持管理・更新を検討する。

民間活力等による財源の効率化の推進

公園の付加価値（魅力創出による利用者増加に伴う収益確保）や維持管理・更新費用の低減を図るため、民間活力の導入など、財源の効率化を推進する。

収益確保による財政の負担軽減の推進

市民や観光客等の売店・飲食店のニーズ、公園利用者の低未利用地の活用、新施設の利用料金による収益の確保など、園内の収益性を考慮した取組みを実施し、財政の負担の軽減を図る。

★再整備の方針5

段階的な整備による着実な実施

新市民体育館整備に伴う影響範囲の再整備を短期に取組み、その他については長期を見据えた方向性を検討する。

■再整備の方針4

運動公園を拠点にスポーツを通じた活力あるまちづくりの推進

上位・関連計画や施策と連携した再整備計画の検討

昨今の社会情勢（少子高齢化、地球温暖化対策等）を鑑み、SDGsや脱炭素化に向けた施策や上位関連計画の方針等と整合・連携を図った再整備計画を策定する。

市民・地域住民・事業者・行政の協働・共創による公園づくりの推進

公園全体の魅力向上を図り、スポーツ・健康づくり等による活力あるまちづくりを推進するには、役割分担をしつつ、市民・地域住民・事業者・行政の協働・共創による公益的な取組みを実施していく。

スポーツコンベンションの推進

スポーツコンベンションは、観光やスポーツ振興、青少年の健全育成、地域活性化等に大きく寄与するため、運動公園再整備に伴う、スポーツコンベンションを推進する。

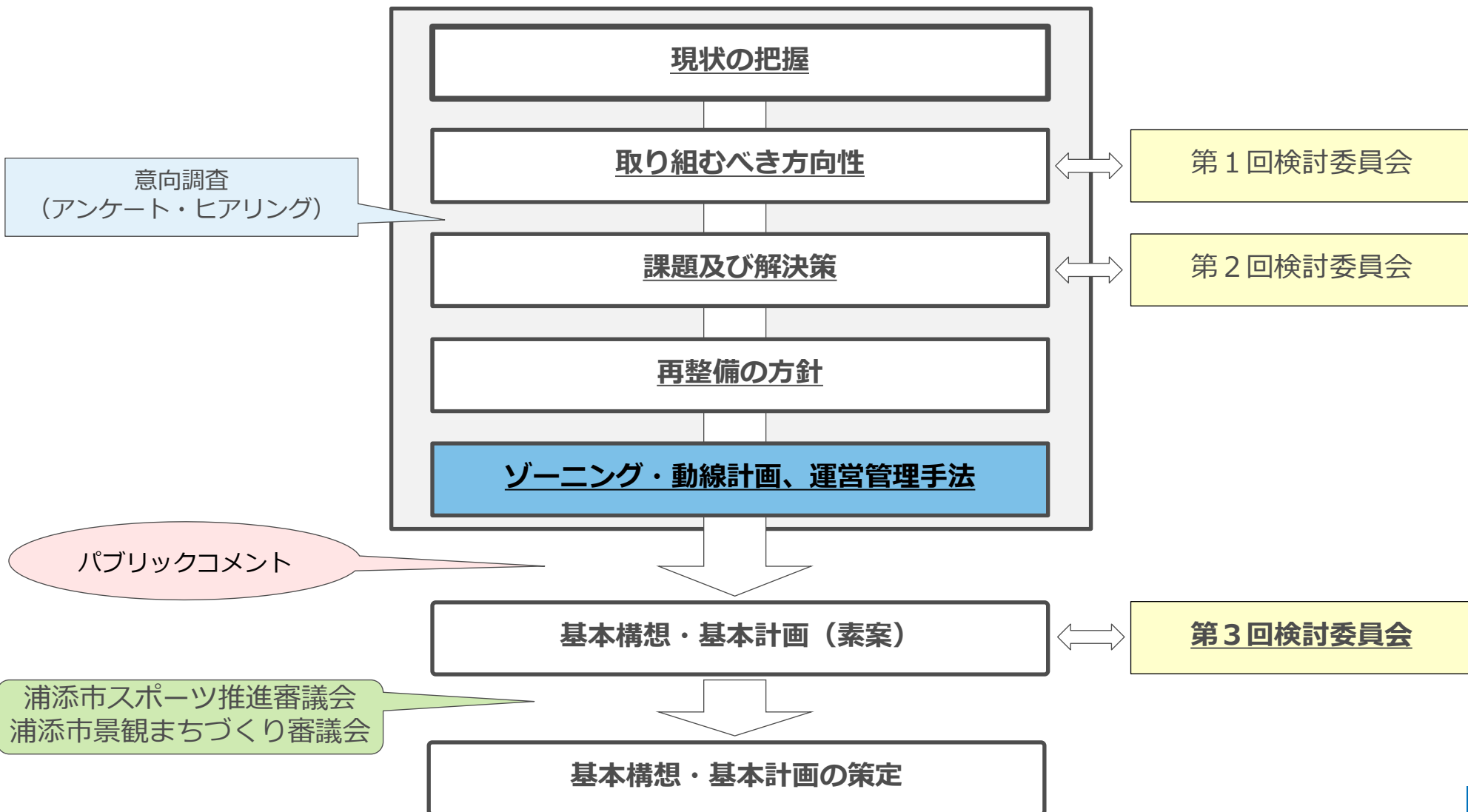
プロスポーツの実施、スポーツキャンプ地の誘致の推進

スポーツを通じた活力あるまちづくりの推進には、高いレベルのスポーツを観戦する機会やアスリートとの交流機会が一助となるため、プロスポーツに対応した環境整備や関係団体等と連携した誘致等の取組みを推進する。

3. 浦添運動公園再整備基本構想・基本計画（案）

(2) ゾーニング・動線計画

- 公園内をゾーン分けし、全体の将来像と再整備の方針に基づき、ゾーン別及び施設別の方針を示します。
- 運動公園の今後の運営管理手法についての方針を示します。



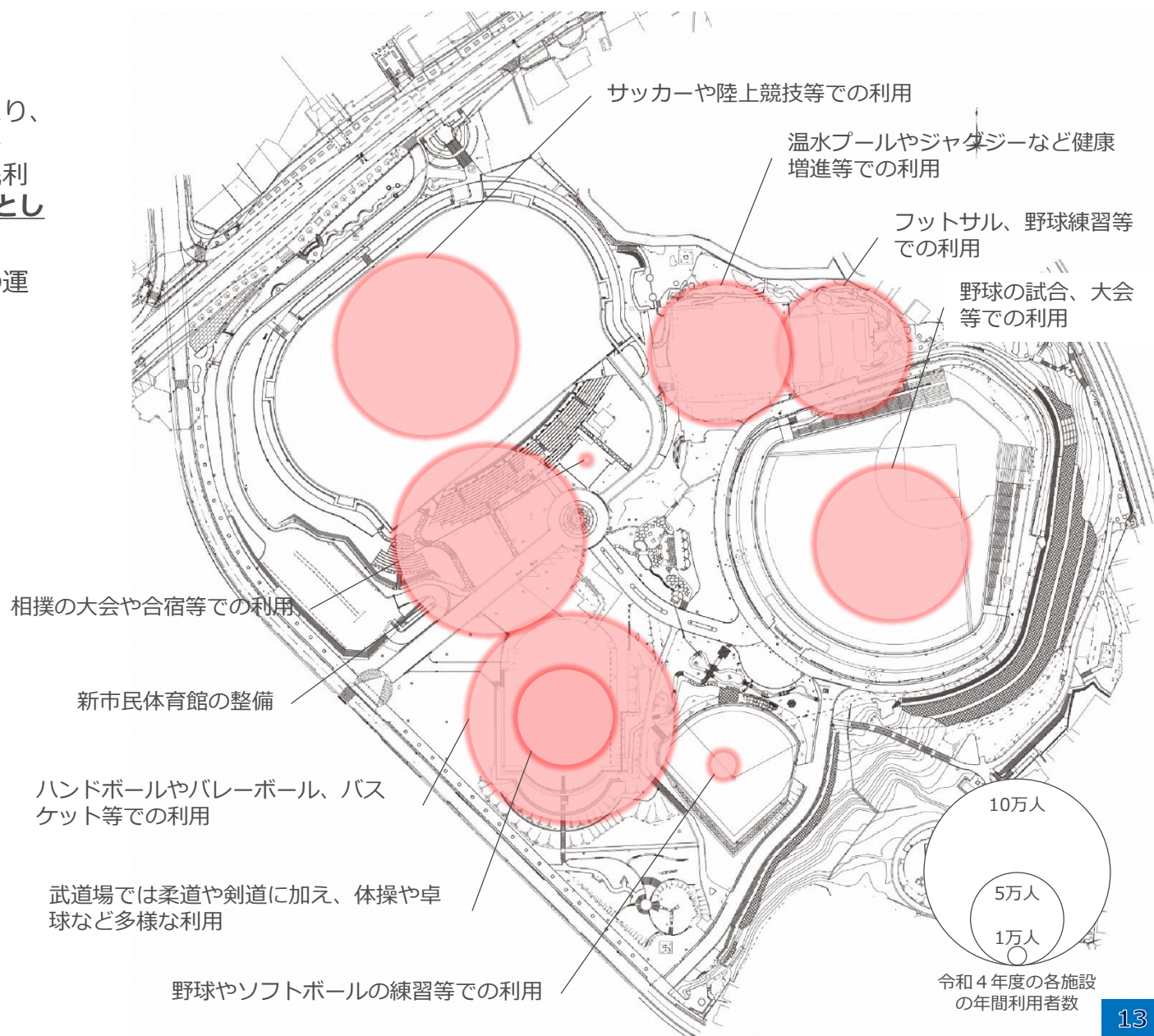
3. 浦添運動公園再整備基本構想・基本計画（案）

(2) ゾーニング・動線計画【(2)-1 利用者の利用状況・意向】

① するスポーツの利用状況

(運動施設)

- 利用者・未利用者アンケート調査結果より、浦添市民利用者では「運動試合に参加した」の利用が最も多く、周辺市町村住民利用者でも3番目に多く、**運動施設を中心とした利用**がなされています。
- 野球で利用される市民球場を除き、他の運動施設は**多目的に利用**されています。



② するスポーツの利用状況

(園路、オープンスペース等)

- 利用者・未利用者アンケート調査結果より、「運動試合に参加した」以外では、「散歩」や「催し物に参加」「子どもと遊んだ」の利用が多いです。
- 散歩などの利用は陸上競技場内のトラック周辺や園路が利用されています。また、市民体育館や陸上競技場、オープンスペースを利用した催し物などが行われています。**
- オープンスペースで子どもと遊んだり休憩での利用が見られますが、場所によって**利用が低い箇所**があります。

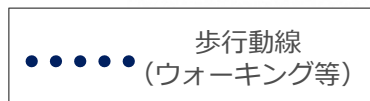


散歩やジョギングでの利用



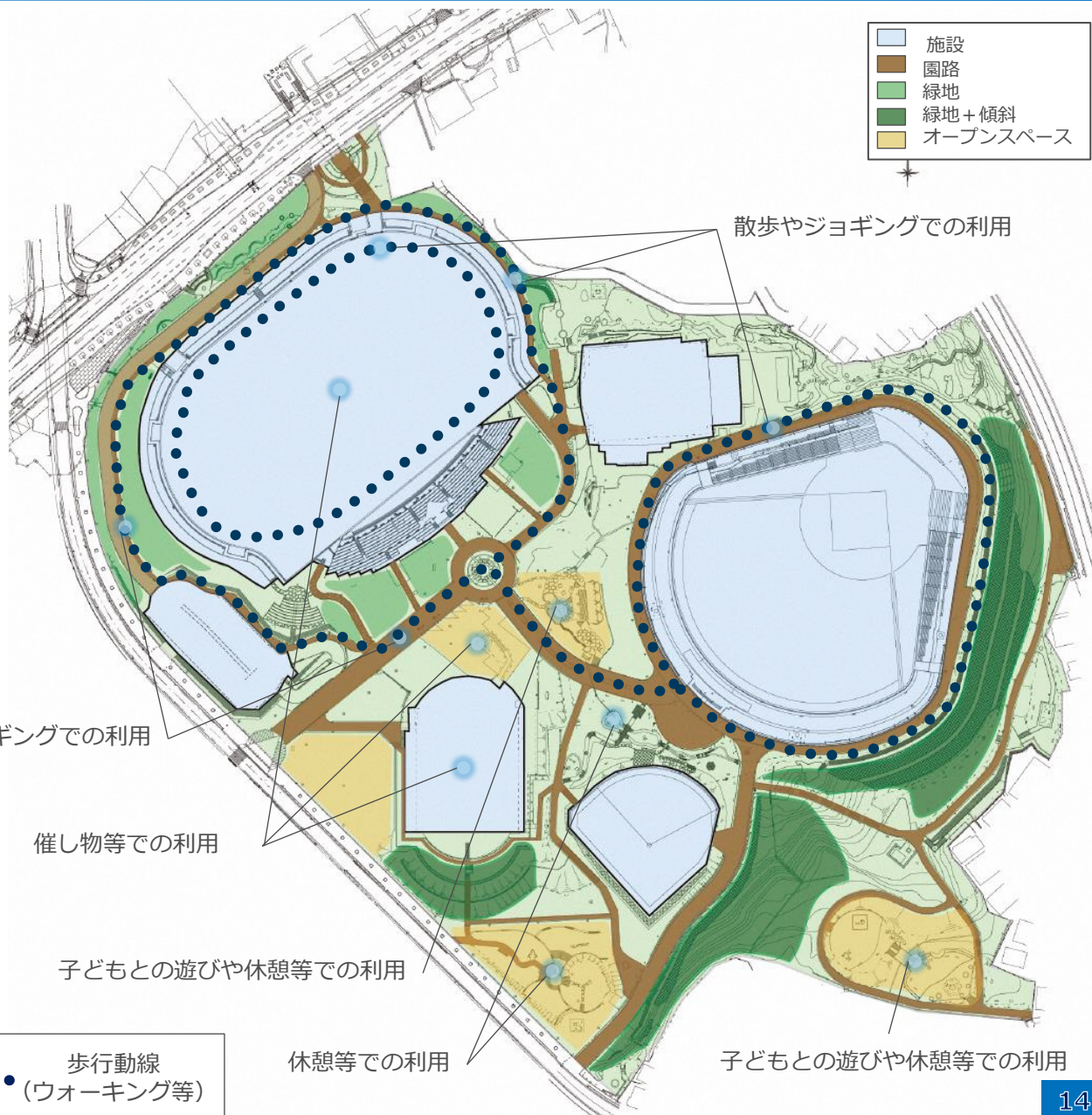
催し物等での利用

子どもとの遊びや休憩等での利用



休憩等での利用

子どもとの遊びや休憩等での利用



(2) ゾーニング・動線計画【(2)-1 利用者の利用状況・意向】

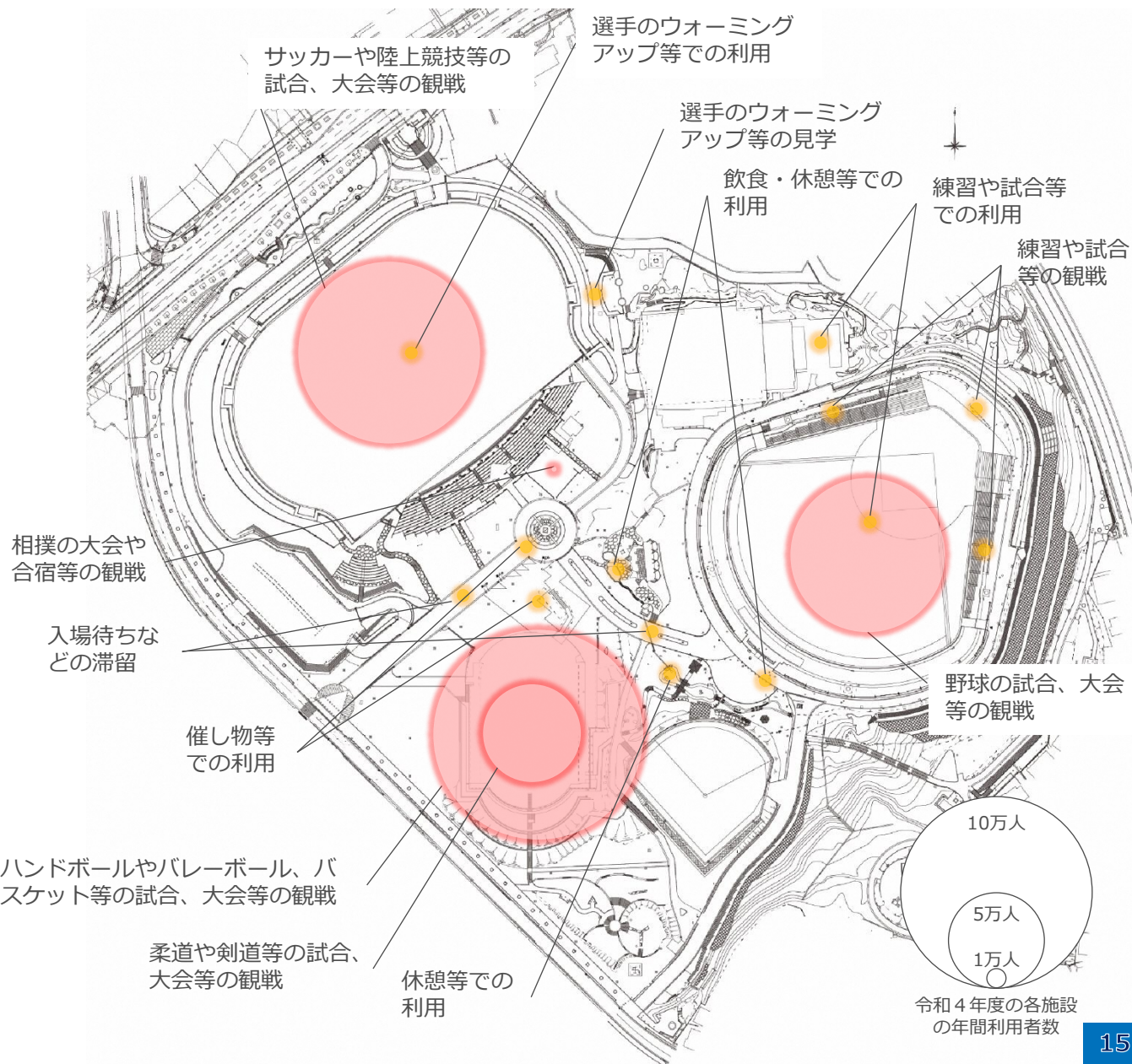
③ みるスポーツの利用状況

みるスポーツの利用状況（一般）

- 各運動施設で試合や大会が開催されており、家族の試合観戦などのみるスポーツの利用がされています。

みるスポーツの利用状況（観光）

- ヤクルトキャンプやてだこウォークの際には、県内外から多くの観光客が訪れ運動公園を利用しています。
- ヤクルトキャンプ時には、練習や試合会場となる市民球場以外に、園路での入場待ちの行列やオープンスペースでイベント、飲食などの利用があり、**運動施設とオープンスペース等の一体的に利用**されています。



④ 公園・施設利用者の需要予測

施設全体の利用者数（実績）の状況

- 令和3年度までコロナ禍の影響により施設全体の利用者数は約32万人まで減少。
- 令和4年度は、てだこまつりやヤクルトキャンプなどの開催により、令和3年度から約35万人増加の約67万人。
- 回復傾向にあるが、令和5年度からの新市民体育館の整備工事により、施設アプローチや立体駐車場の地下部分の利用に制限が出ることから利用者数の減少が想定される。

令和5年度以降の施設全体の利用者数の想定

- 令和5年8月から令和6年6月まで立体駐車場の地下部分の利用制限や施設アプローチの制限により、高齢者の利用や地域団体のイベント等の開催の減少が見込まれることから、期間中の利用者の減少を想定する。
- 新市民体育館の供用開始予定である令和8年度は、陸上競技場と立体駐車場（一部）、園路（一部）で利用制限があるものの、新市民体育館の利用者数分が増加することを想定する。なお、新市民体育館の想定利用者数は既存市民体育館の利用者数を設定する。
- 令和9年度は、陸上競技場の再整備等が完了予定であり、利用制限が解除される。

令和9年度の公園利用者需要

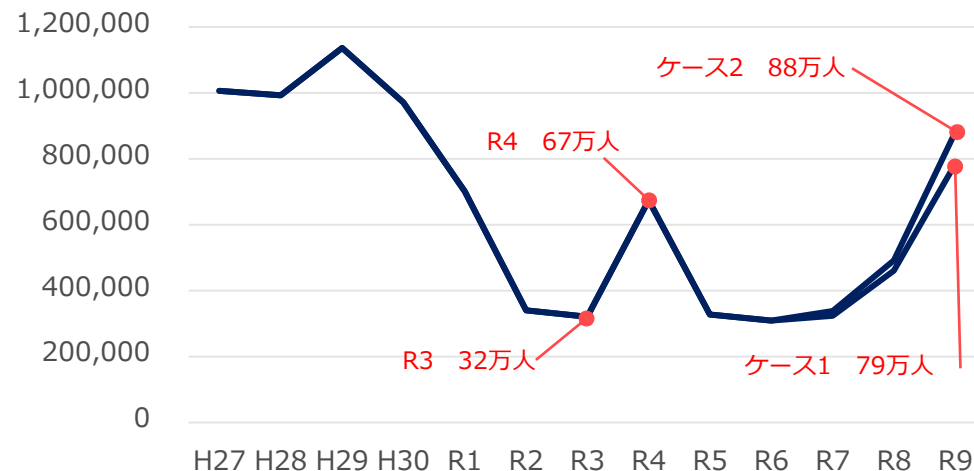
ケース1：令和4年度の利用者実績まで回復する需要予測

令和9年度の公園利用者：新市民体育館以外の施設利用者数（68万人）+ 新市民体育館（11万人）= 79万人

ケース2：令和3年度から令和4年度（大規模イベントを除く）の利用者実績の伸び率を使った需要予測

令和9年度の公園利用者：新市民体育館以外の施設利用者数（75万人）+ 新市民体育館（13万人）= 88万人

利用者数



出典：浦添市資料より作成

3. 浦添運動公園再整備基本構想・基本計画（案）

（2）ゾーニング・動線計画【（2）-1 利用者の利用状況・意向】



④ 公園・施設利用者の需要予測

表 利用者数（ケース1）

施設名	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R4(大規模イベント除)	R5	R6	R7	R8	R9	備考
市民体育館	172,199	168,547	165,868	192,068	151,142	73,294	72,938	109,612	109,612	95,000	104,000	106,000	108,000	110,000	施設利用できるが立体駐車場の地下部分の利用制限や施設までのアプローチの制限による影響を受ける。
武道場	60,795	81,592	67,597	81,541	57,524	38,214	30,826	50,879	50,879	44,000	48,000	49,000	50,000	51,000	
まじゅんらんど	92,014	95,776	90,367	84,196	86,508	51,753	41,425	80,430	80,430	70,000	76,000	77,000	79,000	80,000	
屋内運動場	74,052	75,431	76,166	83,058	74,463	43,894	37,014	68,580	68,580	59,000	65,000	66,000	68,000	69,000	
屋外運動場	18,125	14,704	17,918	16,300	16,254	10,142	8,421	13,336	13,336	4,000	11,000	12,000	12,000	13,000	令和5年8月から令和6年5月までの期間は、施設利用不可により利用者数が見込めない。
市民球場	79,996	54,697	58,764	83,169	61,239	19,276	35,972	80,541	21,927	18,000	5,000	13,000	22,000	81,000	施設利用できるが立体駐車場の地下部分の利用制限や施設までのアプローチの制限による影響を受ける。 令和6年3月から令和6年12月までの期間は、施設利用不可により利用者数が見込めない。 令和7年1月以降は、夜間照明整備工事が終わり利用者の増加が見込まれる。
相撲場	3,621	3,349	3,697	3,356	3,027	1,566	2,943	2,760	2,760	1,000	0	0	13,000	3,000	令和5年8月から令和8年3月までの期間は、施設利用不可により利用者数が見込めない。
陸上競技場	505,595	498,804	655,517	427,085	250,618	101,331	90,954	268,160	109,411	36,000	0	0	0	268,000	令和5年8月から令和9年3月までの期間は、施設利用不可により利用者数が見込めない。
新市民体育館													108,000	110,000	令和8年度供用開始予定により利用者数の増加が見込まれる。
利用者数	1,006,397	992,900	1,135,894	970,773	700,775	339,470	320,493	674,298	456,935	327,000	309,000	323,000	460,000	785,000	【運動公園全体】アプローチの利用制限により、高齢者の利用が多いまじゅんらんどに至るアプローチ及び散歩、ジョギングなどで使用されている園路への影響が大きい。このため、公園及び施設の高齢者の利用が減少することが見込まれる。アンケート調査より市民の公園利用者が60歳代以上は27%であることから、アプローチの制限に2割程度の影響を受けると仮定する。
前年度比		0.99	1.14	0.85	0.72	0.48	0.94	2.10	1.43	0.48	0.94	1.05	1.42	1.71	

■ 一部期間利用不可：想定利用者数×利用できる月/12ヶ月

■ 利用不可

出典：浦添市資料より作成

3. 浦添運動公園再整備基本構想・基本計画（案）

（2）ゾーニング・動線計画【（2）-1 利用者の利用状況・意向】



④ 公園・施設利用者の需要予測

表 利用者数（ケース2）

施設名	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R4算定(大規模イベント除)	R5	R6	R7	R8	R9	備考
市民体育館	172,199	168,547	165,868	192,068	151,142	73,294	72,938	109,612	109,612	95,000	104,000	111,000	119,000	126,000	施設利用できるが立体駐車場の地下部分の利用制限や施設までのアプローチの制限による影響を受ける。
武道場	60,795	81,592	67,597	81,541	57,524	38,214	30,826	50,879	50,879	44,000	48,000	45,000	47,000	59,000	
まじゅんらんど	92,014	95,776	90,367	84,196	86,508	51,753	41,425	80,430	80,430	70,000	76,000	81,000	87,000	92,000	
屋内運動場	74,052	75,431	76,166	83,058	74,463	43,894	37,014	68,580	68,580	59,000	65,000	74,000	79,000	79,000	
屋外運動場	18,125	14,704	17,918	16,300	16,254	10,142	8,421	13,336	13,336	4,000	11,000	12,000	14,000	15,000	令和5年8月から令和6年5月までの期間は、施設利用不可により利用者数が見込めない。
市民球場	79,996	54,697	58,764	83,169	61,239	19,276	35,972	80,541	21,927	18,000	5,000	15,000	25,000	85,000	施設利用できるが立体駐車場の地下部分の利用制限や施設までのアプローチの制限による影響を受ける。 令和6年3月から令和6年12月までの期間は、施設利用不可により利用者数が見込めない。令和7年1月以降は、夜間照明整備工事が終わり利用者の増加が見込まれる。
相撲場	3,621	3,349	3,697	3,356	3,027	1,566	2,943	2,760	2,760	1,000	0	0	1,500	3,000	令和5年8月から令和8年3月までの期間は、施設利用不可により利用者数が見込めない。
陸上競技場	505,595	498,804	655,517	427,085	250,618	101,331	90,954	268,160	109,411	36,000	0	0	0	296,000	令和5年8月から令和9年3月までの期間は、施設利用不可により利用者数が見込めない。
新市民体育館													119,000	126,000	令和8年度供用開始予定により利用者数の増加が見込まれる。
利用者数	1,006,397	992,900	1,135,894	970,773	700,775	339,470	320,493	674,298	456,935	327,000	309,000	338,000	491,500	881,000	【運動公園全体】アプローチの利用制限により、高齢者の利用が多いまじゅんらんどに至るアプローチ及び散歩、ジョギングなどで使用されている園路への影響が大きい。このため、公園及び施設の高齢者の利用が減少することが見込まれる。アンケート調査より市民の公園利用者で60歳代以上は27%であることから、アプローチの制限に2割程度の影響を受けると仮定する。
前年度比		0.99	1.14	0.85	0.72	0.48	0.94	2.10	1.43	0.48	0.94	1.09	1.45	1.79	

■ 一部期間利用不可：想定利用者数×利用できる月/12ヶ月

■ 利用不可



令和4年度実績（大規模イベント除く）/令和3年度実績 = 伸び率 = 1.43

出典：浦添市資料より作成

令和4年度実績（大規模イベント除く）× 1.43 + 大規模イベント来場者数 = 令和9年度利用者予測数

- 令和3年度利用者実績については、コロナ禍の制限により大規模イベントが開催されていないため、令和4年度利用者実績から大規模イベントの来場者数を除外して、同条件のもと伸び率を算出した。
- 大規模イベント てだこまつり(陸上競技場)R3：中止 R4：通常開催(約17万人)ヤクルトキャンプ(市民球場)R3：無観客 R4：通常開催(約6万人)

3. 浦添運動公園再整備基本構想・基本計画（案）

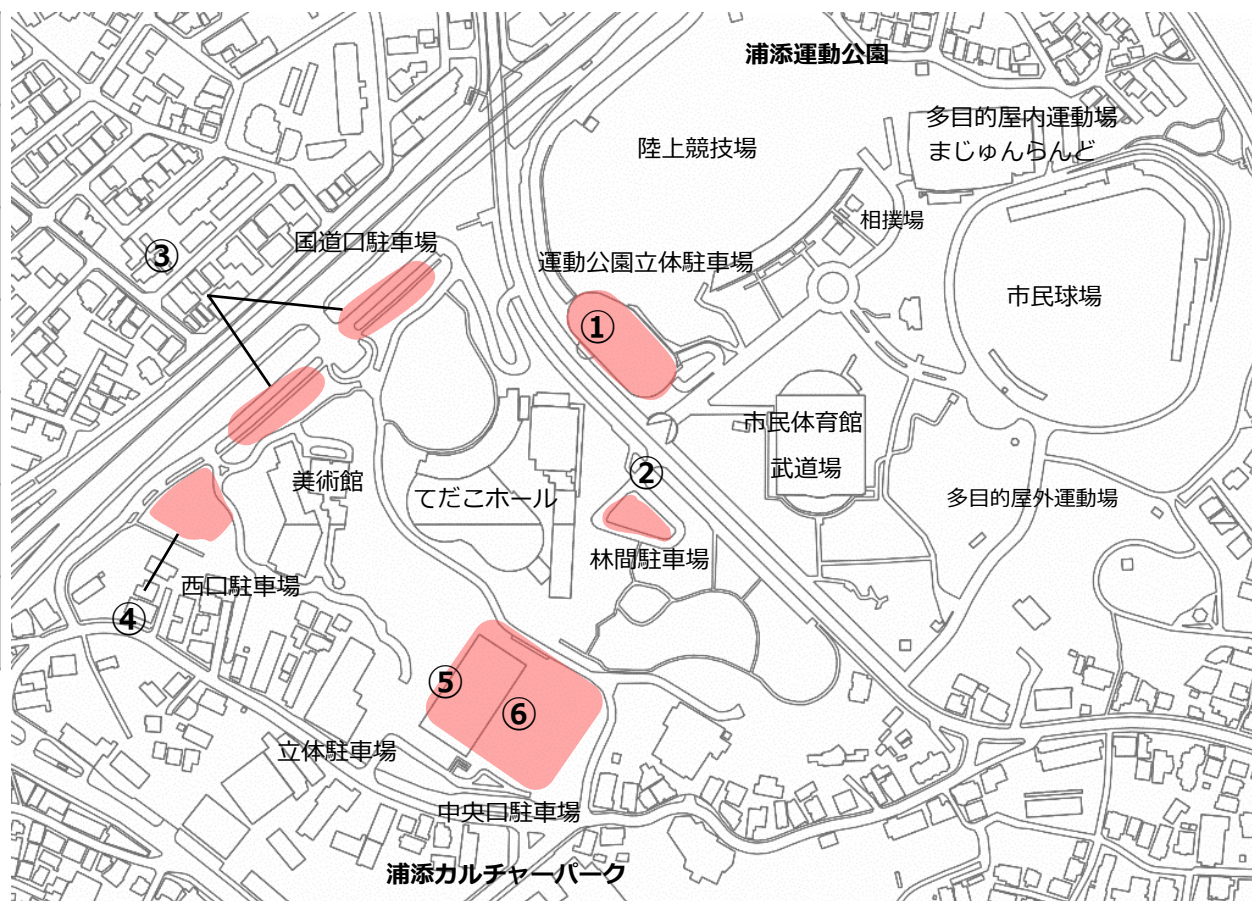
（2）ゾーニング・動線計画【（2）-1 利用者の利用状況・意向】

⑤ 駐車スペースの需要

- 浦添運動公園には282台分の立体駐車場があり、隣接するカルチャーパークの駐車場と合わせると約900台分整備されています（浦添市役所駐車場約60台分は含まない）。
- 目的外利用による駐車等への対応が課題となっています。

駐車場名		駐車台数
①運動公園立体駐車場		約280台
カルチャーパーク	②林間駐車場	約60台
	③国道口駐車場	約120台
	④西口駐車場	約80台
	⑤立体駐車場	約190台
	⑥中央口駐車場	約160台

出典：新浦添市民体育館整備基本計画



3. 浦添運動公園再整備基本構想・基本計画（案）

(2) ゾーニング・動線計画【(2)-1 利用者の利用状況・意向】

⑤ 駐車スペースの需要

運動公園の利用者状況

- 運動公園全体の月別の利用者数は、10月のてだこまつりと2月のヤクルトキャンプ時に突出して多い
- 利用者数が突出して多い10月と2月を除く月の平均利用者数は約39,000人（10月と2月を除く10ヶ月分の平均）

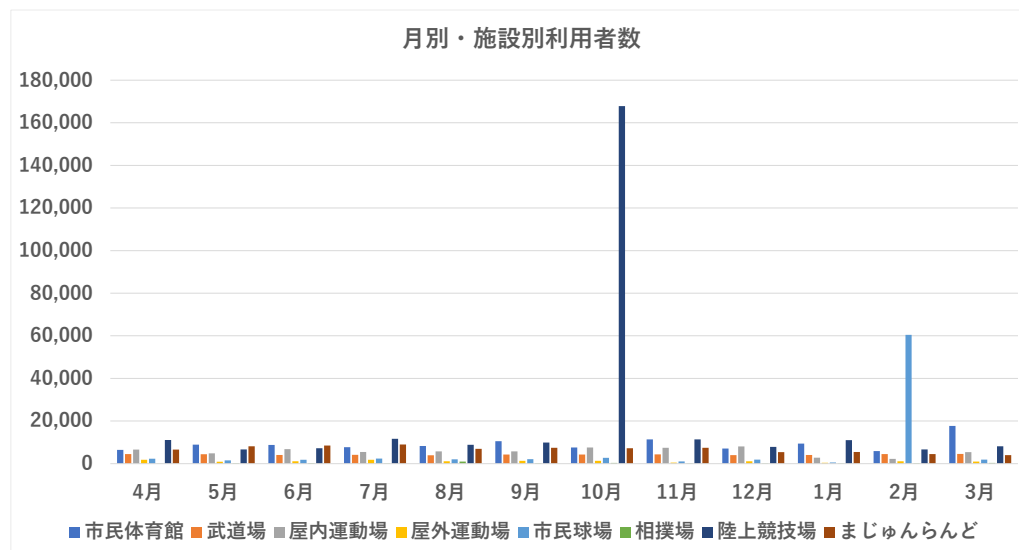
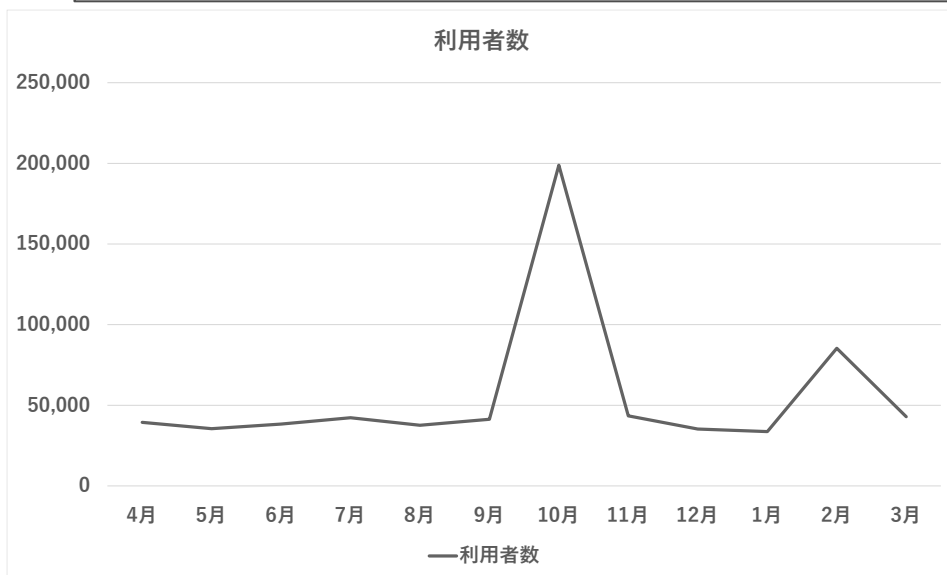


表 令和4年月別・施設別利用者数（人）

施設名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
市民体育館	6,452	8,934	8,739	7,737	8,239	10,492	7,590	11,372	7,051	9,409	5,903	17,694	109,612
武道場	4,469	4,369	4,070	4,148	3,890	4,283	4,290	4,327	3,981	4,024	4,454	4,574	50,879
屋内運動場	6,606	4,830	6,767	5,463	5,747	5,756	7,584	7,425	8,041	2,801	2,200	5,360	68,580
屋外運動場	1,808	891	1,079	1,824	1,064	1,318	1,301	483	1,075	393	1,110	990	13,336
市民球場	2,325	1,543	1,815	2,375	2,013	2,079	2,711	1,000	1,860	539	60,441	1,840	80,541
相撲場	75	149	229	147	951	150	305	104	86	90	161	313	2,760
陸上競技場	11,084	6,671	7,207	11,620	8,805	9,858	167,867	11,365	7,817	11,031	6,677	8,158	268,160
まじゅんらんど	6,613	8,143	8,509	8,941	6,942	7,418	7,183	7,410	5,404	5,465	4,451	3,951	80,430
利用者数	39,432	35,530	38,415	42,255	37,651	41,354	198,831	43,486	35,315	33,752	85,397	42,880	674,298

3. 浦添運動公園再整備基本構想・基本計画（案）

(2) ゾーニング・動線計画【(2)-1 利用者の利用状況・意向】



⑤ 駐車スペースの需要

運動公園と周辺施設のイベント状況

- ・ 運動公園のイベント等（運動会、競技大会、催事など）とカルチャーパーク内でのイベント等（保健相談センターの集団検診、美術館及びてだこホールでのイベント・催事など）の日程が重複する際に駐車スペースの不足等がみられます。
- ・ 目的外利用の駐車や不法駐車などがあり、駐車場の運営に支障を及ぼしています。

表 浦添運動公園と浦添カルチャーパーク内での令和4年度のイベント等の重複状況（「○」はイベント等が実施されていることを示す）

実施日程			浦添運動公園		浦添カルチャーパーク				
					浦添市保健相談センター		美術館	てだこホール	
			陸上競技場	市民体育館	母子事業	集団検診	企画展 (主催・共催)	大ホール	小ホール
6月	19	日	浦添市長杯社会人大会	沖縄プラント杯争奪小学生ハンドボール大会	○		○	○	○
6月	25	土	サッカー大会	沖縄プラント杯争奪小学生ハンドボール大会		○	○	○	○
9月	16	金	令和4年度 那覇地区中学校陸上競技大会		○	○	○	○	○
10月	30	日	第45回浦添てだこまつり	第45回浦添てだこまつり		○	○	○	○
11月	12	土	みのり幼稚園運動会	令和4年度全国ヴィンテージ8'S大会		○	○	○	○
11月	13	日	資金造成大会	令和4年度全国ヴィンテージ8'S大会		○	○	○	○
12月	18	日	アスリート工房 運動会	第51回九州高校生選抜ハンドボール大会沖縄予選	○		○	○	○

表 カルチャーパーク内駐車場等における不法駐車の状況（単位：台）

	令和4年					令和5年				
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
カルチャーパーク内（立体駐車場）	53	45	37	10	9	11	16	10	9	15
カルチャーパーク内（330側）	0	0	22	25	21	27	25	0	25	19
あかひら前臨時駐車場前臨時駐車場	0	3	1	0	3	3	6	3	4	4
カルチャーパーク内（保健所側）	0	0	0	0	6	1	2	1	2	3
カルチャーパーク内（つどいの広場）	0	0	0	0	1	2	2	0	2	2
美術館前	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
総計	53	48	61	35	40	44	51	14	42	43

※8月のみ5回調査実施。その他は1ヶ月に2日（朝、夜間に確認）調査。放置バイクは台数から除いている。

3. 浦添運動公園再整備基本構想・基本計画（案）

（2）ゾーニング・動線計画【（2）-1 利用者の利用状況・意向】



⑤ 駐車スペースの需要

令和4年の利用者数から試算

平日、休日の利用者数の試算

- ・ 利用者数が突出する10月と2月を除いた月平均利用者数の約39,000人に近い、令和4年4月の利用者数を基準に必要な駐車スペースを試算します。
- ・ 国土交通省「令和3年度都市公園利用実態調査「利用者数調査」」の結果を参考に平日と休日の利用者数を試算します。

月平均利用者数	39,400	令和4年の10月と2月を除いた月平均利用者数約39,000人、令和4年4月の利用者数は約39,400人	
平日の利用者数（試算）	1,100		
休日の利用者数（試算）	1,700		
参考値	平日の利用者数	1,300	国土交通省「令和3年度都市公園利用実態調査「利用者数調査」」の結果
	休日の利用者数	1,900	
	平日の日数	20	
	休日の日数	10	
		R4年4月	

平日、休日の駐車スペース規模の試算

- ・ 平日と休日の利用者数から、同時最大利用者数を算出し、自動車の分担率、1台あたり同乗者数から駐車スペースの規模を試算した結果、運動公園内の立体駐車場で必要台数を確保できる試算となります。

項目	令和4年4月利用者数での試算		令和3年度都市公園利用実態調査「利用者数調査」結果での参考値		備考	
	平日	休日	平日	休日		
同時最大利用者数の算定	回転率	0.42	0.42	0.42	0.42	回転率：1日のうちで、最も利用者数の多い時刻の利用者数に対する割合。運動公園の平均滞在時間を約2時間と想定すると、回転率は1/2.4となる（自然公園等施設技術指針）。
	同時最大利用者数（人）	462	714	546	798	
駐車場規模の試算	自動車の分担率	0.63	0.63	0.63	0.63	令和3年度都市公園利用実態調査「都市公園利用アンケート調査」より
	1台あたり同乗者数（人/台）	1.48	1.79	1.48	1.79	平成27年度全国道路・街路交通情勢調査（運行目的別平均乗車人数：私事、乗用車、平日、休日）
	駐車場規模（台）	196	251	232	280	
運動公園立体駐車場台数（約280台）での過不足	84	29	48	0		

3. 浦添運動公園再整備基本構想・基本計画（案）

(2) ゾーニング・動線計画【(2)-1 利用者の利用状況・意向】

⑤ 駐車スペースの需要

令和9年の利用者数（ケース1, ケース2）から試算

平日、休日の利用者数の試算

- R9年の利用者について、公園・施設利用者数の需要予測から大規模イベントを除いた年間利用者数はケース1が約56万人、ケース2が約65万人であり、それぞれの月平均の利用者数4.7万人と5.4万人で試算します。

	令和9年の利用者数 (ケース1)	令和9年の利用者数 (ケース2)	
月平均利用者数	47,000	54,000	令和9年の大規模イベントを除いた年間利用者数の月平均
平日の利用者数（試算）	1,358	1,560	
休日の利用者数（試算）	1,984	2,280	

※ケース1の大規模イベントを除いた年間利用者数56万人
=ケース1の年間利用者数79万人ーてだこまつり17万人-ヤクルトキャンプ6万人

※ケース2の大規模イベントを除いた年間利用者数65万人
=ケース2の年間利用者数88万人ーてだこまつり17万人-ヤクルトキャンプ6万人

てだこまつり、ヤクルトキャンプの利用者数は令和4年度の実績値

平日、休日の駐車スペース規模の試算

- 平日と休日の利用者数から、同時最大利用者数を算出し、自動車の分担率、1台あたり同乗者数から駐車スペースの規模を試算した結果、休日では運動公園内の立体駐車場で必要台数を確保できない試算となります。

項目		令和9年の利用者数 (ケース1)での試算		令和9年の利用者数 (ケース2)での試算		備考
		平日	休日	平日	休日	
同時最大利用者数の算定	回転率	0.42	0.42	0.42	0.42	回転率：1日のうちで、最も利用者数の多い時刻の利用者数に対する割合。運動公園の平均滞在時間を約2時間と想定すると、回転率は1/2.4となる（自然公園等施設技術指針）。
	同時最大利用者数（人）	570	833	655	958	
駐車場規模の算定	自動車の分担率	0.63	0.63	0.63	0.63	令和3年度都市公園利用実態調査「都市公園利用アンケート調査」より 平成27年度全国道路・街路交通情勢調査（運行目的別平均乗車人数：私事、乗用車、平日、休日）
	1台あたり同乗者数（人/台）	1.48	1.79	1.48	1.79	
	駐車場規模（台）	242	293	278	336	
運動公園立体駐車場台数（約280台）での過不足		38	-13	2	-56	

3. 浦添運動公園再整備基本構想・基本計画（案）

(2) ゾーニング・動線計画【(2)-1 利用者の利用状況・意向】

⑤ 駐車スペースの需要

大規模イベントのある10月、2月と大規模イベントがない月で最も多い11月の利用者数から試算

平日、休日の利用者数の試算

- 大規模イベントのある令和4年10月と令和5年2月、大規模イベントがない月で利用者数が最も多い11月で必要な駐車スペースを試算します。

		大規模イベントがある月		大規模イベントがない月で最大
		令和4年10月	令和5年2月	令和4年11月
月平均利用者数		199,000	85,400	43,486
平日の利用者数（試算）		5,500	2,700	1,300
休日の利用者数（試算）		8,100	3,900	1,800
参考値	平日の日数	20	19	20
	休日の日数	11	9	10

平日、休日の駐車スペース規模の試算

- 平日と休日の利用者数から、同時最大利用者数を算出し、自動車の分担率、1台あたり同乗者数から駐車スペースの規模を試算した。試算した結果、令和4年10月と令和5年2月では、運動公園内の立体駐車場で必要台数を確保できない試算となります。

項目		令和4年10月 利用者数での試算		令和5年2月 利用者数での試算		令和4年11月 利用者数での試算		備考
		平日	休日	平日	休日	平日	休日	
同時最大利用者数の算定	回転率	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	回転率：1日のうちで、最も利用者数の多い時刻の利用者数に対する割合。運動公園の平均滞在時間を約2時間と想定すると、回転率は1/2.4となる（自然公園等施設技術指針）。
	同時最大利用者数（人）	2,310	3,402	1,134	1,638	546	756	
駐車場規模の算定	自動車の分担率	0.63	0.63	0.63	0.63	0.63	0.63	令和3年度都市公園利用実態調査「都市公園利用アンケート調査」より 平成27年度全国道路・街路交通情勢調査（運行目的別平均乗車人数：私事、乗用車、平日、休日）
	1台あたり同乗者数（人/台）	1.48	1.79	1.48	1.79	1.48	1.79	
	駐車場規模（台）	982	1,195	482	576	232	266	
運動公園立体駐車場台数（約280台）での過不足		-702	-915	-202	-296	48	10	

※10月のてだこまつりでは、運動公園立体駐車場等は一般利用者の使用は不可となっている。

3. 浦添運動公園再整備基本構想・基本計画（案）

(2) ゾーニング・動線計画【(2)-1 利用者の利用状況・意向】

⑤ 駐車スペースの需要

コロナ禍前の平成29年利用者数から試算

平日、休日の利用者数の試算

- 大規模イベントの利用者数を除いた平成29年度の年間利用者数約92.6万人での月平均利用者数と、大規模イベントがない月で利用者数が最も多い9月と最小の1月で必要な駐車スペースを試算します。

		最大（9月）	最小（1月）	平均
月利用者数		90,000	50,700	77,000
平日の利用者数（試算）		2,600	1,400	2,200
休日の利用者数（試算）		3,800	2,100	3,300
参考値	平日の日数	20	21	20
	休日の日数	10	10	10

※大規模イベントを除いた平成29年度利用者数92.6万人
 = 平成29年度の年間利用者数113.5万人－てだこまつり
 17.7万人－ヤクルトキャンプ約3.2万人

てだこまつり、ヤクルトキャンプの利用者数は
 平成29年度の実績値

平日、休日の駐車スペース規模の試算

- 平日と休日の利用者数から、同時最大利用者数を算出し、自動車の分担率、1台あたり同乗者数から駐車スペースの規模を試算します。試算した結果、最小月の1月の平日以外では、運動公園内の立体駐車場では必要台数を確保できない試算となります。

項目		最大（9月）		最小（1月）		平均		備考
		平日	休日	平日	休日	平日	休日	
同時最大利用者数の算定	回転率	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	回転率：1日のうちで、最も利用者数の多い時刻の利用者数に対する割合。運動公園の平均滞在時間を約2時間と想定すると、回転率は1/2.4となる（自然公園等施設技術指針）。
	同時最大利用者数（人）	1,092	1,596	588	882	924	1,386	
駐車場規模の算定	自動車の分担率	0.63	0.63	0.63	0.63	0.63	0.63	令和3年度都市公園利用実態調査「都市公園利用アンケート調査」より 平成27年度全国道路・街路交通情勢調査（運行目的別平均乗車人数：私事、乗用車、平日、休日）
	1台あたり同乗者数（人/台）	1.48	1.79	1.48	1.79	1.48	1.79	
	駐車場規模（台）	464	561	250	310	393	487	
運動公園立体駐車場台数（約280台）での過不足		-184	-281	30	-30	-113	-207	

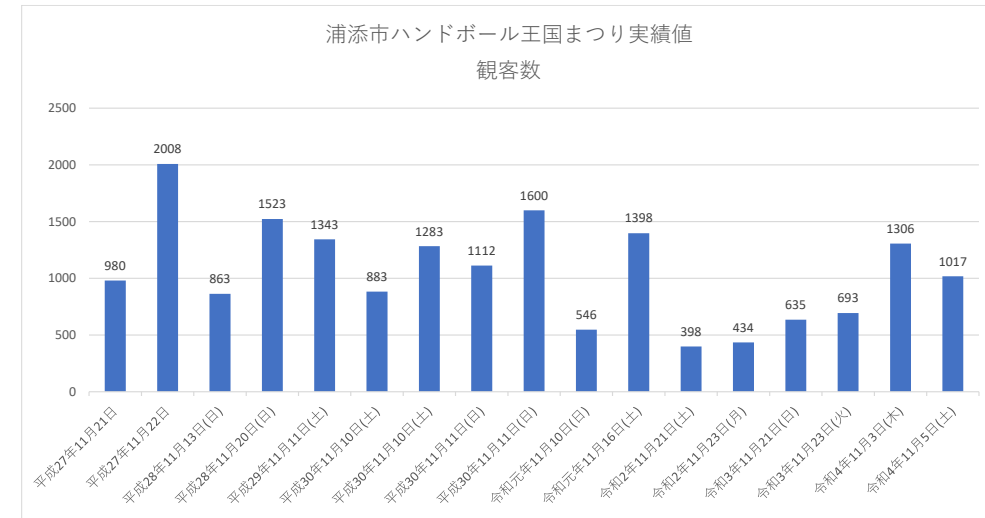
3. 浦添運動公園再整備基本構想・基本計画（案）

(2) ゾーニング・動線計画【(2)-1 利用者の利用状況・意向】

⑤ 駐車スペースの需要

イベント時の利用者数から試算

- 平成27年から令和4年までに開催された浦添市ハンドボール王国まつり（浦添市を拠点に活動している琉球コラソンが参戦する日本ハンドボールリーグ沖縄大会の本浦添市開催試合）の観客数から最大、最小、平均の観客数を試算します。
- 観客数から自動車の分担率、1台あたり同乗者数から駐車スペースの規模を試算した結果、最大と平均では運動公園内の立体駐車場で必要台数を確保できない試算となります。参考値として、**新市民体育館の3,000人規模で試算した場合、運動公園内の立体駐車場で必要台数を確保できない試算となります。**



項目	実績から算定			参考	備考	
	最大	最小	平均	新市民体育館		
観客数	2,008	398	1,060	3,000	浦添市ハンドボール王国まつり実績値（H27～R3）	
駐車場規模の算定	自動車の分担率	0.63	0.63	0.63	0.63	国土交通省「令和3年度都市公園利用実態調査「利用者数調査」」の結果
	1台あたり同乗者数（人/台）	1.79	1.79	1.79	1.79	平成27年度全国道路・街路交通情勢調査（運行目的別平均乗車人数：私事、乗用車、休日1.79）
	駐車場規模（台）	706	140	372	1,054	
運動公園立体駐車場台数（約280台）での過不足	-426	140	-92	-774		

※「浦添市ハンドボール王国まつり（日本ハンドボールリーグ沖縄大会）」

浦添市では平成16年に「ハンドボール王国都市宣言」を行い、市をあげてハンドボールを応援。浦添市を拠点に活動している琉球コラソンが参戦する日本ハンドボールリーグ沖縄大会の本浦添市開催試合を「浦添市ハンドボール王国まつり」と称し、共催事業として琉球コラソンの支援並びにハンドボールをとおしたまちづくりの振興を図っている。

主催 公益財団法人日本ハンドボール協会 日本ハンドボールリーグ機構 株式会社コラソン
会場 浦添市民体育館

3. 浦添運動公園再整備基本構想・基本計画（案）

(2) ゾーニング・動線計画【(2) -2 ゾーニング】

① ゾーニングの考え方

利用状況等を踏まえて以下の8ゾーンを設定

市民等の利用を中心にしつつ、プロスポーツ等の興行にも対応できる「**するスポーツ・みるスポーツゾーンⅠ**」（新市民体育館、陸上競技場、市民球場）

市民等の競技スポーツや健康増進のためのスポーツ・運動利用に加えて、トップアスリートの競技等の観戦が可能で新たな**スポーツ・観光の交流拠点**に資するゾーン

市民等のスポーツ・運動の利用を中心とする「**するスポーツ・みるスポーツゾーンⅡ**」（市民体育館）

主に市民等の競技スポーツや健康増進のためのスポーツ・運動利用に加えて、子ども等の試合や大会等の観戦ができる**生涯スポーツの推進**や**スポーツ交流**に資するゾーン

するスポーツゾーン（屋外運動場、まじゅんらんど等）

主に市民等の競技スポーツや健康増進、心身機能の維持・回復、交流等のための**スポーツ・運動利用**を担うゾーン
※春季キャンプ時にはゾーンⅠを補完するゾーン

交流ゾーン

オープンスペースを利用したイベントや**魅力ある便益施設**などにより賑わいを生み出し、**運動公園内の交流の核**となるゾーン

メインエントランスゾーン

市内外からの利用者を迎え入れるとともに、オープンスペースを利用したイベントや交流ゾーンとの連携により賑わいや交流を生み出す**公園の顔**となるゾーン

エントランスゾーン

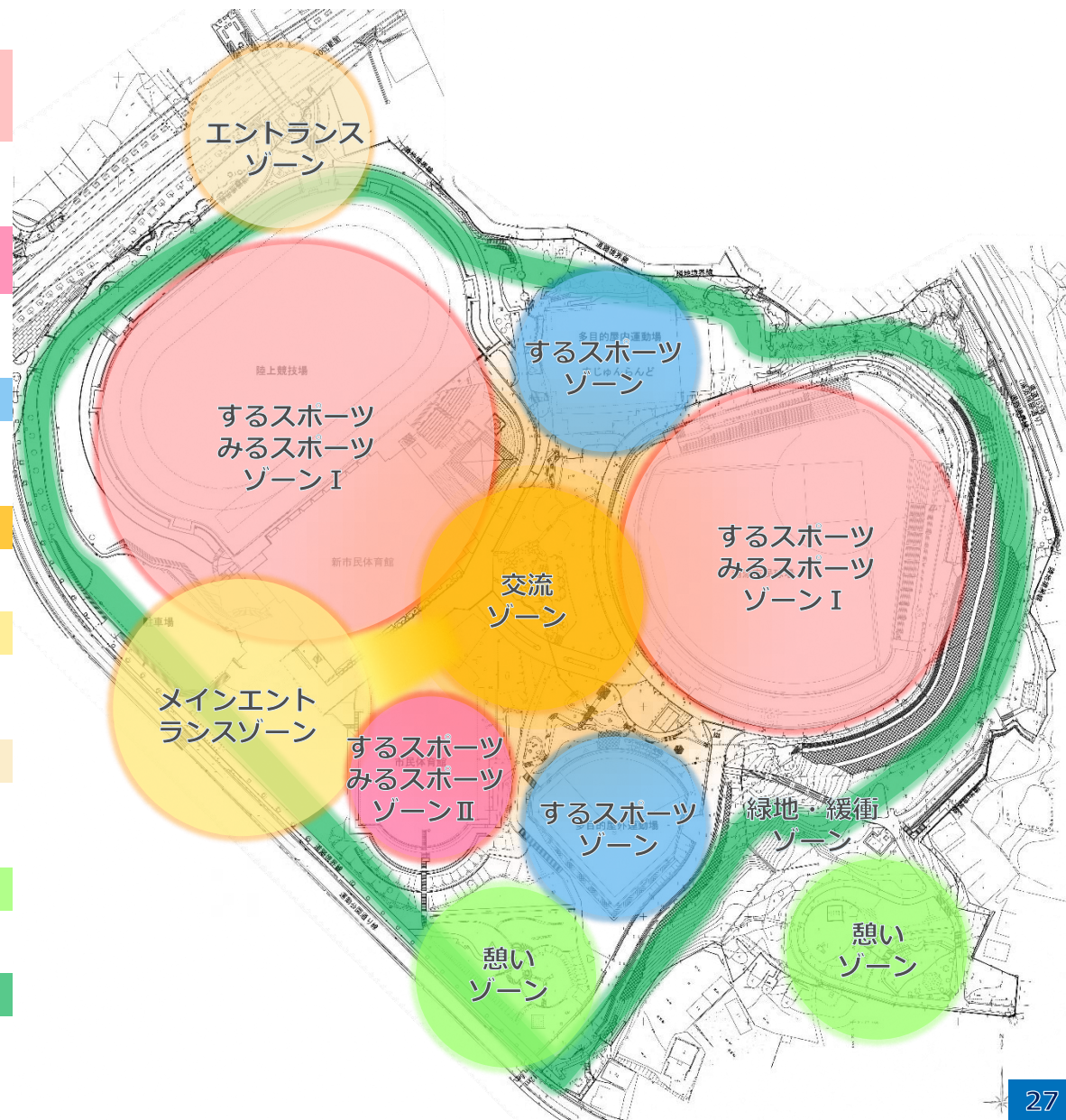
サブエントランスとして、徒歩やバス等の公共交通で訪れる利用者を緑陰等で迎え入れ、**交流や憩いの場**を生み出すとともに、**緊急車両の進入を確保**するなど、**安全・安心や防災の機能**をもつゾーン

憩いゾーン

高低差のある特徴的な地形や自然を感じながら**休息・交流**ができるゾーン

緑地・緩衝ゾーン

地域の貴重な緑地空間であるとともに、自然を身近に感じながら**スポーツ、健康づくり交流**に資するとともに、周辺の住宅街や道路との**緩衝帯**の役割を担うゾーン



(2) ゾーニング・動線計画【(2)-3 動線計画】

① 動線の考え方

通常時の動線

- 歩行者動線は、各施設にスムーズに移動できるゆとりある空間を確保するとともに、車両動線と重なる部分は安全に歩行できるように配慮します。
- 陸上競技場や市民球場の周囲はウォーキングやランニングコースとして利用されており、自然を感じながら歩行・ランニングできる空間整備を行います。
- 高低差を活かし自然や景色の変化を感じることができる歩行空間を確保します。

災害時の動線

- 災害時に、エントランスゾーン及び市道側の憩いゾーンから緊急車両が進入できる空間を確保します。
- 災害時の一時避難場所となる陸上競技場、市民球場等までの経路について安全に移動できる空間を確保します。

デザインイメージ案



ゆとりある歩行空間の確保



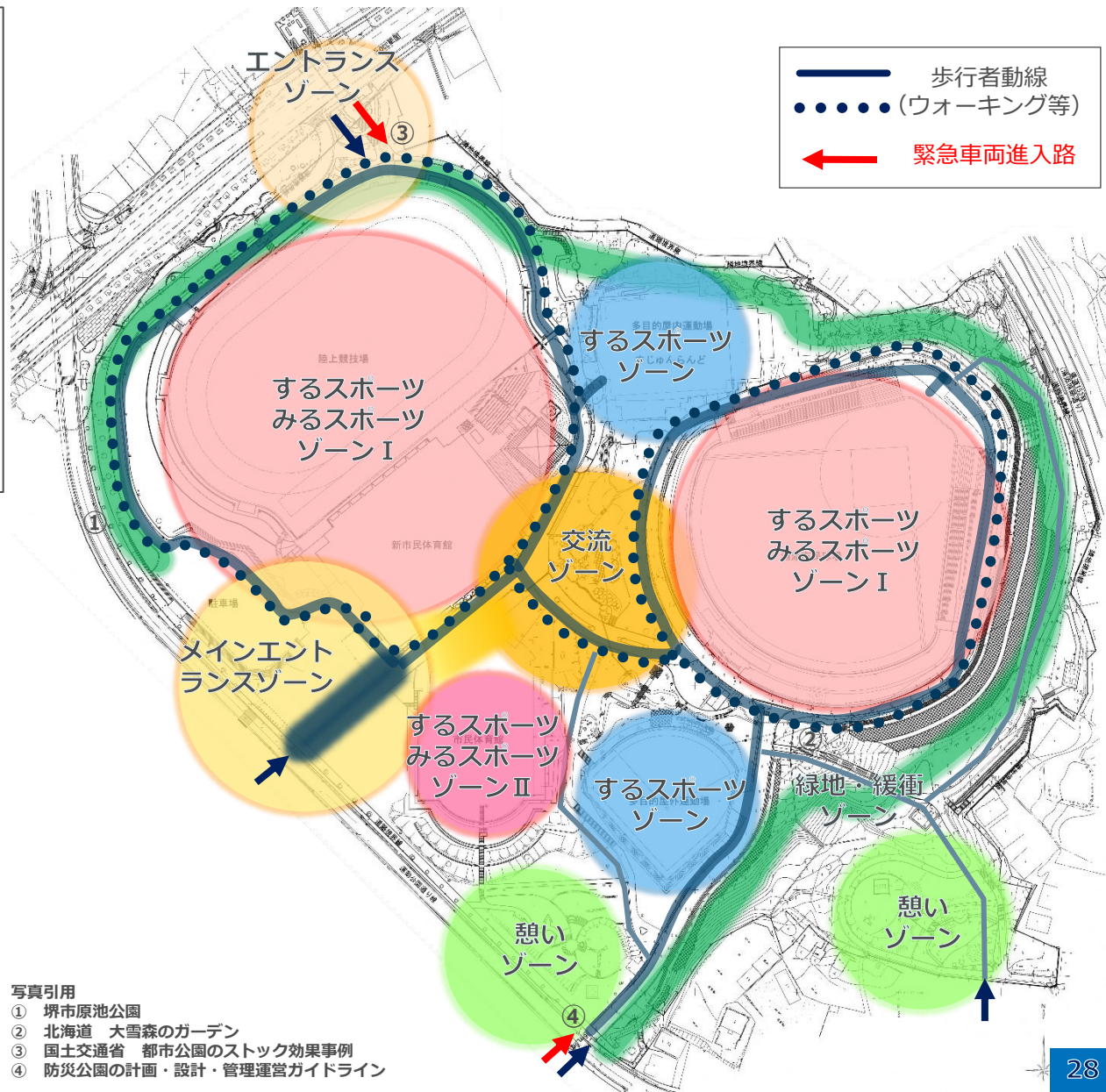
自然を感じながら歩行・ランニングできる空間



高低差を活かし自然や景色の変化を感じられる歩行空間



緊急車両が進入できる空間を確保



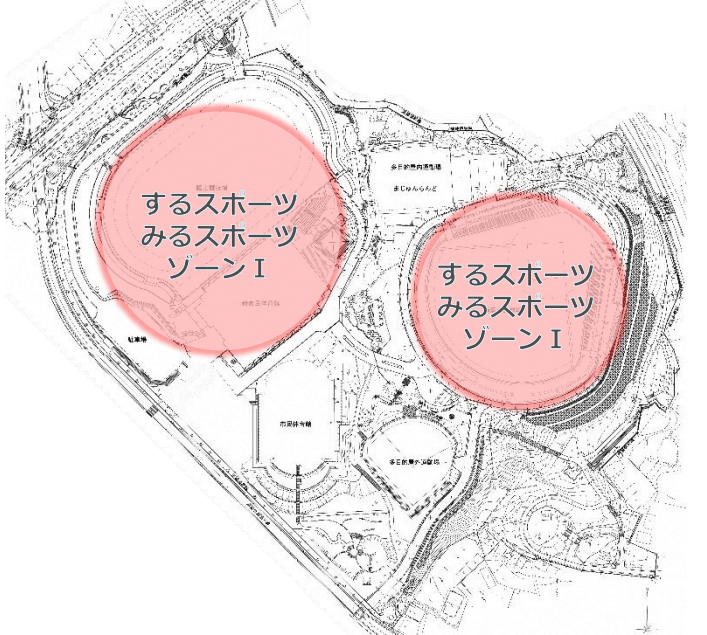
写真引用

- 堺市原池公園
- 北海道 大雪森のガーデン
- 国土交通省 都市公園のストック効果事例
- 防災公園の計画・設計・管理運営ガイドライン

3. 浦添運動公園再整備基本構想・基本計画（案）

(2) ゾーニング・動線計画【(2)-4 ゾーン別・テーマ別整備の方針】

① するスポーツ・みるスポーツゾーンⅠの整備方針

<p>ゾーンの整備目標 市民等の競技スポーツや健康増進のためのスポーツ・運動利用に加えて、トップアスリートの競技等の観戦が可能で新たなスポーツ・観光の交流拠点に資するゾーン</p>	
<p>ゾーン内の構成要素 陸上競技場、新市民体育館、相撲場、市民球場</p>	
<p>ゾーン内で想定される利用・使用形態</p> <ul style="list-style-type: none">陸上競技場：陸上競技、ジョギング、散歩、サッカー、ラグビー、グラウンドゴルフ、プロスポーツ等の春季キャンプ、てだこまつり等新市民体育館：ハンドボール、バスケットボール、バレーボール、フットサル、バトミントン、卓球、プロスポーツ等の試合・大会、eスポーツ、コンサート、MICE等相撲場：相撲市民球場：野球、ソフトボール、プロスポーツ等のキャンプ等	
<p>ゾーン内の課題</p> <ul style="list-style-type: none">まちなかにある立地や特徴的な地形等を活かした、「利用者の利用目的・形態に応じた利用空間の整備」「グリーンインフラとしての利活用」「人と人とのつながり、リアルな交流を生み出す場の整備」安全・安心で誰もが利用しやすく楽しめる、「老朽・陳腐化した施設・設備の魅力向上・機能強化」「観るスポーツの楽しみ方の提供」公園・運動施設の持続可能な管理運営、「公園・運動施設・設備の適切な維持管理・更新」「民間活力等による財源の効率化」「収益確保による財政の負担軽減」スポーツを通じて活力あるまちづくり、「上位・関連計画や施策と連携した再整備計画」「市民・地域住民・事業者・行政の協働・共創による公園づくり」「スポーツコンベンションの推進」「プロスポーツの実施、スポーツキャンプ地の誘致」	
<p>ゾーン整備の方針</p> <ul style="list-style-type: none">●▲ゾーン内の運動施設・園路は、子どもや高齢者、障がい者をはじめ、誰もが利用しやすいユニバーサルデザインによる整備●ゾーン内の緑地の適切な配置及び維持管理●市民、県民、観光客、軍属等が移動しやすく、利用しやすい案内表示やICTを活用した交流イベント等の情報発信の整備●▲利用頻度が高く、人と人とのつながりやリアルな交流を創出させる運動施設や空間の魅力向上と機能強化▲■プロスポーツが実施できる施設整備とスポーツ観戦等が楽しめる環境整備▲災害時に市民等が安全・安心に避難できるよう現地対策本部や自衛隊活動拠点等の役割を担う等、災害対策・復旧活動の核となる防災機能を確保◆PPP/PFIを活用し、利用者の利便性を高めると共に、興行による地域の賑わい創出や地域経済の活性化につながる適切な施設の運営・管理■景観まちづくり計画やティードヌファ緑の基本計画等を踏まえ、トップアスリートの競技等の観戦の魅力向上に資する良好な景観の形成■スポーツコンベンションの推進に寄与する運動施設整備★陸上競技場・相撲場は先行する新市民体育館整備と連携して整備に取り組み、他運動施設は長寿命化計画等と照らし合わせながら計画・整備に取り組み	

ゾーン整備の方針は、●再整備の方針 1、▲再整備の方針 2、◆再整備の方針 3、■再整備の方針 4、★再整備の方針 5 に対応する（以下、他ゾーンも同様）

3. 浦添運動公園再整備基本構想・基本計画（案）

(2) ゾーニング・動線計画【(2)-4 ゾーン別・テーマ別整備の方針】

②するスポーツ・みるスポーツゾーンⅡの整備方針

ゾーンの整備目標

主に市民等の競技スポーツや健康増進のためのスポーツ・運動利用に加えて、子ども等の試合や大会等の観戦ができる生涯スポーツの推進やスポーツ交流に資するゾーン

ゾーン内の構成要素

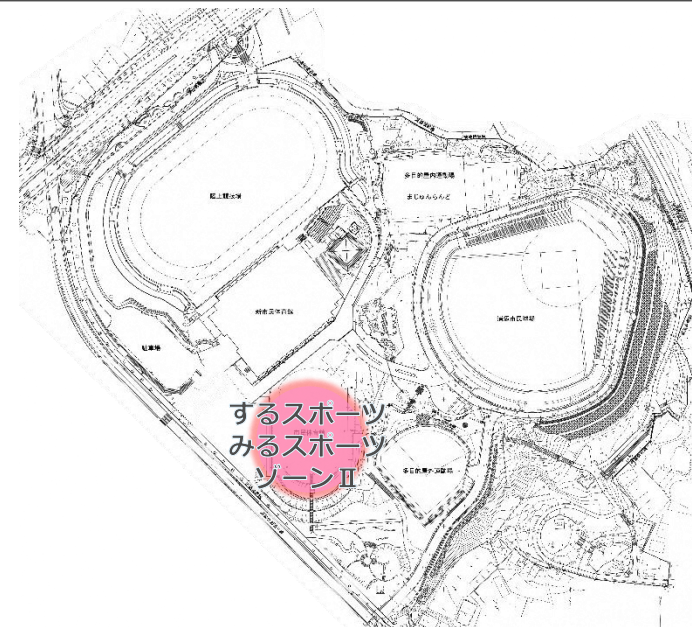
市民体育館、武道場、トレーニングルーム

ゾーン内で想定される利用・使用形態

- 市民体育館：ハンドボール、バスケットボール、バレーボール、バトミントン、卓球、テニス、市民のスポーツ大会、沖展等
- 武道場：柔道、剣道、体操、卓球、ダンス等
- トレーニングルーム：マシンを使ったトレーニング、ストレッチ

ゾーン内の課題

- まちなかにある立地や特徴的な地形等を活かした、「利用者の利用目的・形態に応じた利用空間の整備」「人と人とのつながり、リアルな交流を生み出す場」
- 安全・安心で誰もが利用しやすく楽しめる、「老朽・陳腐化した施設・設備の魅力向上・機能強化」「観るスポーツの楽しみ方の提供」「既存市民体育館の今後の運用」
- 公園・運動施設の持続可能な管理運営、「公園・運動施設・設備の適切な維持管理・更新」「民間活力等による財源の効率化」「収益確保による財政の負担軽減」
- スポーツを通じて活力あるまちづくり、「上位・関連計画や施策と連携した再整備計画」「市民・地域住民・事業者・行政の協働・共創による公園づくり」「スポーツコンベンションの推進」



ゾーン整備の方針

- ゾーン内の運動施設・園路は、子どもや高齢者、障がい者をはじめ、誰もが利用しやすいユニバーサルデザインによる整備と施設の更新
- 市民、県民、観光客、軍属等が利用しやすい案内表示やICTを活用した柔軟な予約システム、情報発信の整備
- ■ 生涯スポーツの推進やスポーツ、レクリエーションの普及に寄与する運動・施設の更新
- ▲ 市民、県民、軍属等がスポーツや健康づくり、交流できる施設・設備の更新と子どもの大会などのスポーツ観戦が楽しめる環境整備
- ▲ 既存市民体育館と新市民体育館は二つの拠点機能として相互補完により、多様な利用シーンに対応できるような施設・環境整備
- ▲ 災害時に市民等が安全・安心に避難できるよう保健衛生（身元確認所等）の役割を担う必要な機能を確保
- ◆ 利用者の利便性を高めると共に、スポーツ・健康づくり等による活力ある地域の賑わい創出につながる施設の運営・管理
- 新市民体育整備と調和を図る良好な景観の形成と緑地の配置
- ★ 利用者のニーズや長寿命化計画等と照らし合わせながら施設の更新等の計画・整備に取り組む

3. 浦添運動公園再整備基本構想・基本計画（案）

（2）ゾーニング・動線計画【（2）-4 ゾーン別・テーマ別整備の方針】

③するスポーツゾーンの整備方針

ゾーンの整備目標

主に市民等の競技スポーツや健康増進、心身機能の維持・回復、交流等のためのスポーツ・運動利用を担うゾーン

※春季キャンプ時にはゾーンⅠを補完するゾーン

ゾーン内の構成要素

まじゅんランド、多目的屋内運動場、多目的屋外運動場、スケートボード広場

ゾーン内で想定される利用・使用形態

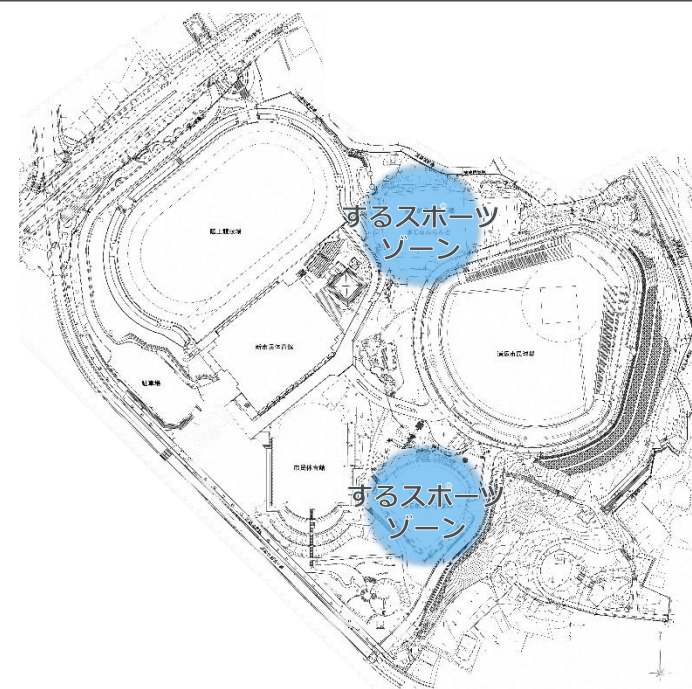
- まじゅんランド：水泳、マシンをつかったトレーニング、スタジオレッスン、カルチャースクール等
- 多目的屋内運動場：テニス、フットサル、ドッジボール、野球練習等、保育園や幼稚園の運動会、プロ野球キャンプ時の練習場
- 多目的屋外運動場：野球、ソフトボール、グラウンドゴルフ、プロ野球キャンプ時の練習場
- スケートボード広場：スケートボード、ローラースケート等

ゾーン内の課題

- まちなかにある立地や特徴的な地形等を活かした、「利用者の利用目的・形態に応じた利用空間の整備」「人と人とのつながり、リアルな交流を生み出す場」
- 安全・安心で誰もが利用しやすく楽しめる、「老朽・陳腐化した施設・設備の魅力向上・機能強化」
- 公園・運動施設の持続可能な管理運営、「公園・運動施設・設備の適切な維持管理・更新」「民間活力等による財源の効率化」「収益確保による財政の負担軽減」
- スポーツを通じて活力あるまちづくり、「上位・関連計画や施策と連携した再整備計画」「市民・地域住民・事業者・行政の協働・共創による公園づくり」「スポーツコンベンションの推進」

ゾーン整備の方針

- ゾーン内の運動施設・園路は、子どもや高齢者、障がい者をはじめ、誰もが利用しやすいユニバーサルデザインによる整備と施設の更新
- メインエントランスから本ゾーン内の施設まで利用者に分かりやすい案内表示や、ICTを活用した交流イベント等の情報発信の整備
- ▲市民や地域住民・団体等のするスポーツや健康づくり、イベントでの利用に応じた施設・設備の更新
- ◆利用者の利便性を高めると共に、健康増進や心身機能の維持・回復、コミュニケーションの活性化につながるような施設の運営・管理
- 子ども、高齢者、障がい者等のスポーツ参加や健康づくり、プロスポーツキャンプ等のスポーツコンベンションの推進に資する施設・設備の更新
- ▲ 災害時に市民等が安全・安心に避難できるよう生活支援（給水・入浴等）の役割を担う必要な機能を確保
- 周辺の運動施設や環境と調和を図る良好な景観形成や緑地の維持・保全
- ★ 利用者のニーズや長寿命化計画等と照らし合わせながら施設の更新等の計画・整備に取り組む



3. 浦添運動公園再整備基本構想・基本計画（案）

(2) ゾーニング・動線計画【(2)-4 ゾーン別・テーマ別整備の方針】

④交流ゾーンの整備方針

ゾーンの整備目標

オープンスペースを利用したイベントや**魅力ある便益施設**などにより賑わいを生み出し、**運動公園内の交流の核**となるゾーン

ゾーン内の構成要素

売店施設、広場、ビオトープ

ゾーン内で想定される利用・使用形態

- 売店施設：休憩、飲食（休日、イベント時）
- 広場：イベント、自然とのふれあい、災害時の避難等
- ビオトープ：水辺空間

ゾーン内の課題

- まちなかにある立地や特徴的な地形等を活かした、「利用者の利用目的・形態に応じた利用空間の整備」「グリーンインフラとしての保全・利活用」「人と人とのつながり、リアルな交流を生み出す場」
- 安全・安心で誰もが利用しやすく楽しめる、「老朽・陳腐化した施設・設備の魅力向上・機能強化」「便益施設（飲食店等）の魅力・利便性向上」
- 公園・運動施設の持続可能な管理運営、「収益確保による財政の負担軽減」
- スポーツを通じて活力あるまちづくり、「上位・関連計画や施策と連携した再整備計画」「市民・地域住民・事業者・行政の協働・共創による公園づくり」



ゾーン整備の方針

- ゾーン内の運動施設・園路は、子どもや高齢者、障がい者をはじめ、誰もが利用しやすいユニバーサルデザインによる整備
- 自然を感じる水辺やみどりの配置と地域の賑わいや**交流を生み出す**イベント等の実施を可能にする**交流の核**となるオープンスペースの整備
- 園内中央に位置するゾーンとして各施設に誘導する案内表示や、ICTを活用した施設情報発信の整備
- ▲ **災害時に市民等が安全・安心に避難できるよう生活支援（仮設トイレ等）の役割を担う必要な機能を確保**
- ▲◆ **Park-PFIの活用も含め**利用者の休憩や飲食利用等に対応した魅力ある便益施設の運営や環境の整備
- 周辺の運動施設や自然、オープンスペースと調和を図る良好な景観の形成
- **メインエントランスとの一体的な利用や他ゾーンで行われる**スポーツイベント等と連携し、市民・地域住民・事業者・行政の協働・共創による魅力ある公園（オープンスペース）づくり
- ★ **先行する新市民体育館やメインエントランスの整備と連携すると共に、周辺運動施設との関係性を踏まえたオープンスペースの整備に取り組む**

3. 浦添運動公園再整備基本構想・基本計画（案）

(2) ゾーニング・動線計画【(2)-4 ゾーン別・テーマ別整備の方針】

⑤メインエントランスゾーンの整備方針

ゾーンの整備目標

市内外からの利用者を迎え入れるとともに、オープンスペースを利用したイベントや交流ゾーンとの連携により賑わいや交流を生み出す**公園の顔**となるゾーン

ゾーン内の構成要素

正面入口、園路、立体駐車場

ゾーン内で想定される利用・使用形態

- ・ 正面入口：利用者の入退園、待合せ
- ・ **オープンスペース：交流**
- ・ 園路：各運動施設へのアクセス、散歩やジョギング、関係者車両等の移動
- ・ 立体駐車場：利用者の駐車、各施設へのアクセス

ゾーン内の課題

- ・ まちなかにある立地や特徴的な地形等を活かした、「利用者の利用目的・形態に応じた利用空間の整備」「利用者のアクセス性向上、駐車スペースの確保」
- ・ 安全・安心で誰もが利用しやすく楽しめる、「老朽・陳腐化した施設・設備の魅力向上・機能強化」
- ・ スポーツを通じて活力あるまちづくり、「上位・関連計画や施策と連携した再整備計画」



ゾーン整備の方針

- 子どもや高齢者、障がい者をはじめ、様々な利用者を快適に迎え入れることが可能となる利用しやすいユニバーサルデザインによる整備
- 市民、県民、観光客、軍属等のはじめて訪れる利用者にも、目的施設等に分かりやすく誘導する園路と案内表示の整備
- 自家用車やレンタカー、観光バスなどのアクセスに対応した駐車スペースの適切な運用と**確保**
- 市内外から多様な交通手段で訪れることができるアクセス性の確保
- **交流ゾーンと連携し、地域の賑わいや交流を生み出すイベント等の実施を可能にする空間の整備**
- ▲ **災害時に市民等が安全・安心に公園内に避難できるようゲート・オープンスペース等の必要な機能を確保**
- 市内外からの利用者を迎え入れる**公園の顔**としてまちなみや周辺環境と調和を図る良好な景観の形成
- ★ **新市民体育館や交流ゾーンの整備と連携した園路やオープンスペース等の整備に取り組む**

3. 浦添運動公園再整備基本構想・基本計画（案）

(2) ゾーニング・動線計画【(2)-4 ゾーン別・テーマ別整備の方針】

⑥ エントランスゾーンの整備方針

ゾーンの整備目標

サブエントランスとして、徒歩やバス等の公共交通による利用者を緑陰等で迎え入れ、交流や憩いの場を生み出すとともに、緊急車両の進入を確保するなど、安全・安心や防災の機能をもつゾーン

ゾーン内の構成要素

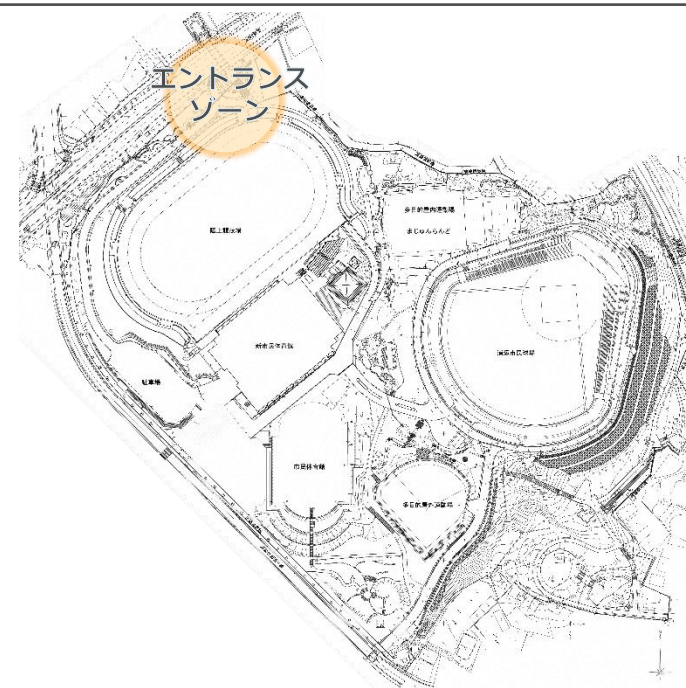
国道入口

ゾーン内で想定される利用・使用形態

- ・ 国道入口：利用者の入退園、国道330号からの車両の進入、**災害時等の緊急車両の進入**

ゾーン内の課題

- ・ まちなかにある立地や特徴的な地形等を活かした、「利用者の利用目的・形態に応じた利用空間の整備」「利用者のアクセス性向上、駐車スペースの確保」
- ・ 安全・安心で誰もが利用しやすく楽しめる、「老朽・陳腐化した施設・設備の魅力向上・機能強化」
- ・ スポーツを通じて活力あるまちづくり、「上位・関連計画や施策と連携した再整備計画」



ゾーン整備の方針

- 子どもや高齢者、障がい者をはじめ、様々な利用者を快適に迎え入れ、**交流や憩いの場となるユニバーサルデザインによる空間整備**
- 市民、県民、観光客、軍属等のはじめて訪れる利用者にも、目的施設等に分かりやすく誘導する園路と案内表示の整備
- 市内外から多様な交通手段で訪れることができるアクセス性の確保
- ▲ **災害時に市民等が安全・安心に公園内に避難できるようゲートとして必要な機能を確保すると共に、大型緊急車両の進入が可能となるような空間の整備に取り組む**
- **徒歩やバス等の公共交通による利用者を迎え入れるエントランスとしてまちなみや周辺環境と調和を図る良好な景観の形成**
- ★ **陸上競技場の整備と連携したエントランス空間の整備に取り組む**

3. 浦添運動公園再整備基本構想・基本計画（案）

(2) ゾーニング・動線計画【(2)-4 ゾーン別・テーマ別整備の方針】

⑦ 憩いゾーンの整備方針

ゾーンの整備目標

高低差のある特徴的な地形や自然を感じながら**休息・交流**等ができるゾーン

ゾーン内の構成要素

遊具広場、オープンスペース、**関係者入口**

ゾーン内で想定される利用・使用形態

- ・ 遊具広場：子どもの遊び場、休憩、交流、散歩等
- ・ オープンスペース：休憩、交流、散歩等
- ・ **関係者入口：関係車両の進入等**

ゾーン内の課題

- ・ まちなかにある立地や特徴的な地形等を活かした、「利用者の利用目的・形態に応じた利用空間の整備」「グリーンインフラとしての保全・利活用」「人と人とのつながり、リアルな交流を生み出す場」
- ・ 安全・安心で誰もが利用しやすく楽しめる、「老朽・陳腐化した施設・設備の魅力向上・機能強化」「便益施設（飲食店等）の魅力・利便性向上」
- ・ 公園・運動施設の持続可能な管理運営、「収益確保による財政の負担軽減」
- ・ スポーツを通じて活力あるまちづくり、「上位・関連計画や施策と連携した再整備計画」「市民・地域住民・事業者・行政の協働・共創による公園づくり」



ゾーン整備の方針

- 子どもの遊びや地域住民の憩い・交流等で利用しやすいオープンスペースとしてユニバーサルデザインによる整備
- 自然を感じながら休憩や交流等ができる緑地の適切な配置及び維持・保全
- 地域のコミュニティの交流や賑わい創出につながるオープンスペースを活用した交流促進
- 高低差があっても移動しやすく、園内の各施設にアクセスしやすい案内表示等の整備
- ▲◆眺望の良さや低未利用地の空間を**活かし、Park-PFIの活用も含め**利用者の利便性や**交流機会**を高める魅力ある便益施設の導入
- ▲ **災害時の大型緊急車両の進入や被災者の一時避難場所までの安全な避難等を確保する空間の整備**
- 周辺のまちなみと調和を図る自然豊かな良好な景観形成
- 身近な魅力ある公園を持続するための市民・地域住民・事業者・行政の協働・共創による公園（オープンスペース）づくり
- ★ **利用者のニーズ等を踏まえながら便益施設の導入等に取り組む**

3. 浦添運動公園再整備基本構想・基本計画（案）

（2）ゾーニング・動線計画【（2）-4 ゾーン別・テーマ別整備の方針】

⑧ 緑地・緩衝ゾーンの整備方針

ゾーンの整備目標

地域の貴重な緑地空間であるとともに、自然を身近に感じながら**スポーツ、健康づくり交流**に資するとともに、周辺の住宅街や道路との**緩衝帯の役割**を担うゾーン

ゾーン内の構成要素

緑地空間

ゾーン内で想定される利用・使用形態

- ・ 緑地空間：自然との触れ合い、住宅地との緩衝帯、景観形成
- ・ 園路：各運動施設へのアクセス、散歩やジョギング、関係者車両等の移動

ゾーン内の課題

- ・ まちなかにある立地や特徴的な地形等を活かした、「利用者の利用目的・形態に応じた利用空間の整備」「グリーンインフラとしての保全・利活用」
- ・ 公園・運動施設の持続可能な管理運営、「公園・運動施設・設備の適切な維持管理・更新」
- ・ スポーツを通じて活力あるまちづくり、「上位・関連計画や施策と連携した再整備計画」「市民・地域住民・事業者・行政の協働・共創による公園づくり」



ゾーン整備の方針

- 高低差があっても移動しやすく自然を感じながらの散歩・ジョギング等の健康づくりや、休憩、交流等ができる木陰やベンチが適切に配置された園路及び緑地空間の形成
- 運動施設や園内の利用者の快適性の向上に寄与し、維持管理上の支障とならない、良好な景観形成のための緑地の適正な配置及び維持・保全
- 周辺の緑地と合せて、災害時にグリーンインフラとして防災機能を有する緑地の維持・保全
- ◆ 周辺の住宅街や道路との緩衝帯の役割を担う緑地の適切な維持・保全
- 市の緑の拠点として緑地空間の保全や、地域の緑の骨格を形成する丘陵と調和を図る良好な自然景観の形成
- 自然豊かで魅力ある公園を持続するために市民・地域住民・**地域の事業者**・行政の協働・共創による公園（オープンスペース）の維持・保全
- ★ **新市民体育館や陸上競技場、相撲場等の整備と連携した緑地の適正な配置及び維持・保全に取り組む**

3. 浦添運動公園再整備基本構想・基本計画（案）

(2) ゾーニング・動線計画【(2)-4 ゾーン別・テーマ別整備の方針】

⑨ 防災に関する整備方針

防災に関する課題

浦添市地域防災計画等と連携した公園・運動施設の防災機能の維持・向上

防災に関する整備方針

地域防災計画より運動公園は、災害時の広域避難場所に位置付けており、求められる当該機能の維持・向上と今後に予定される地域防災計画の見直しと連携した整備を図る。
災害時に防災機能を有するグリーンインフラ

⑩ 環境に関する整備方針

環境に関する課題

カーボンニュートラルの実現に資する、園内や周辺の住環境に配慮した環境整備の推進

環境に関する整備方針

園内の緑地や水辺空間の維持・保全と、運動施設等への再生可能エネルギーの導入など、園内外の環境に配慮した整備を図る。
生物多様性の保全等に貢献するグリーンインフラ

⑪ 景観に関する整備方針

景観に関する課題

- ・ 新市民体育館整備に伴う景観の変容への対応
- ・ 浦添の風土やみどりの骨格を形成する周辺の自然景観の維持・保全

景観に関する整備方針

丘陵地と周辺の緑地等の景観資源を活かしつつ、公園利用者が自然を感じながら、海への眺望を楽しむなど、ゆっくりと過ごすことができる良好な自然景観の維持・保全

⑫ 新技術・DXに関する整備方針

新技術・DXに関する課題

デジタル技術やデータの利活用など、新技術の導入による利用者サービスの向上

新技術・DXに関する整備方針

公園管理者の現場のニーズと新技術の開発者側のシーズがマッチングするものの検討や関係機関からの情報提供など、利用者サービスの向上に資する新技術の導入を図る。

⑬ 維持管理運営に関する整備方針

維持管理運営に関する課題

- ・ 公園・施設・設備の適切かつ持続可能な維持管理・更新
- ・ 公園の付加価値や維持管理・更新費用の低減を図るため、民間活力の導入

維持管理運営に関する整備方針

持続可能な公園・運動施設の適切な運営・管理手法の見直し
民間活力の導入による公園・運動施設の管理・運営の検討

⑭ まちづくりに関する方針

まちづくりに関する課題

- ・ 公園全体の魅力向上を図り、スポーツ・健康づくり等による活力あるまちづくり
- ・ 市民・地域住民・事業者・行政の協働・共創による公園（オープンスペース）づくり

まちづくりに関する方針

まちなかという立地特性を活かし、周辺の施設や住民、事業者、行政等が連携を図りながら、スポーツを通じて多様な交流・賑わいを創出させ、周辺にも波及させていくまちづくり
バス停やモノレール駅、周辺施設等と連携した公園までのアクセス性を高めるサイン計画の検討

3. 浦添運動公園再整備基本構想・基本計画（案）

(2) ゾーニング・動線計画【(2)-4 ゾーン別・テーマ別整備の方針】

⑮ 段階的な整備の考え方

- 先行する新市民体育館の整備に伴う影響範囲の再整備に短期的に取り組めます。
- その他ゾーンについては、施設の老朽化等を踏まえながら中長期的に取り組めます。

主に短期的に取り組むゾーン

- するスポーツ・みるスポーツゾーン I (陸上競技場、新市民体育館、相撲場)
- **メインエントランスゾーン** (立体駐車場、園路、正面入口)
- エントランスゾーン (国道入口)
- 交流ゾーン (売店施設、広場)
- 緑地・緩衝ゾーン (緑地空間)

主に中長期的に取り組むゾーン

- するスポーツ・みるスポーツゾーン I (市民球場)
- するスポーツ・みるスポーツゾーン II (市民体育館)
- するスポーツゾーン (まじゅんランド、屋内運動場、屋外運動場、スケートボード広場)
- 憩いゾーン (遊具広場、オープンスペース)



- 短期的に取り組む
- 中長期的に取り組む

3. 浦添運動公園再整備基本構想・基本計画（案）

（2）ゾーニング・動線計画【（2）-5 施設別整備の方針】

① するスポーツ・みるスポーツゾーンⅠの施設整備 ①-1 陸上競技場【短期的な取組】

<p>ゾーンの整備目標 市民等の競技スポーツや健康増進のためのスポーツ・運動利用に加えて、トップアスリートの競技等の観戦が可能で新たなスポーツ・観光の交流拠点に資するゾーン</p>	
<p>陸上競技場で想定される利用・使用形態 陸上競技、ジョギング、散歩、サッカー、ラグビー、グラウンドゴルフ、プロ野球球団・プロサッカーチーム等の春季キャンプ、てだこまつり等</p>	<p>他市町村の陸上競技場の状況</p> <ul style="list-style-type: none">プロ野球球団に加え、プロサッカーチーム等も誘致するなど、スポーツコンベンションを推進。プロスポーツの利用に合せた芝生等の維持管理。メインスタンド一部に屋根の設置、車いす利用者の観戦スペースやエレベーター、トイレを設けるなど、ユニバーサルデザインを適用。競技場への入退場を一か所の出入口に集約し、事務室より管理。多目的な競技用の備品を適切に保管する倉庫。サブスタンドの芝生化適切な維持管理等を見据えた施設利用料金
<p>陸上競技場の課題</p> <ul style="list-style-type: none">老朽化・陳腐化した施設で、新市民体育館整備に伴い、メイン・サブスタンドの一部解体やフィールドトラックが工事車両により乱されるため、機能更新が必要。サッカーの試合や大会を開催するにはフィールドが手狭で、かつ、プロサッカーチーム等の春季キャンプの誘致ができない状況。夜間照明の照度が不足しており、夜間の利用が困難となっている状況。1日中自由に利用できる形態のために施設管理が困難となっている。一方で、利用度は高く、利用者も使い勝手がいい形態であるため、施設管理と利用で相反する状況。倉庫や諸室は老朽化や手狭のため、一部使用されておらず、また備品も保管できない状況。各競技やてだこまつり等の興行後のフィールド内芝生の維持管理が困難な状況。サブスタンドは植栽の根が張り、座りにくく、テント設営も困難で観戦がしづらい状況。バリアフリーの整備が不十分な箇所があるなど、ユニバーサルデザインの導入が必要。再整備後の適切な維持管理・運営を行うため、施設利用料金の改定が必要。	<p>陸上競技場の整備方針</p> <ul style="list-style-type: none">● 子どもや高齢者等をはじめ、誰もが利用しやすく、車いす利用者に配慮した施設整備など、ユニバーサルデザインの導入● 全ての人々が移動しやすく、利用しやすい案内表示やICTを活用した交流イベント等の情報発信の整備● ▲ 人と人とのつながりやリアルな交流を創出させるフィールドトラックやスタンドの機能強化と魅力向上● ■ 多目的なスポーツの実施が可能で、プロスポーツ等のキャンプを誘致できる施設整備とスポーツ観戦等が楽しめる環境整備▲ ◆ サブスタンドの空間が有効活用できる再整備及び植栽の適切な再配置と維持管理計画▲ 災害時は一時避難場所や自衛隊活動拠点として災害対策活動の拠点となる防災機能を確認◆ PPP/PFIを活用し、利用者の利便性を高めると共に、地域の賑わい創出や地域経済の活性化につながる適切な施設の運営・管理■ トップアスリートのキャンプ等の魅力向上に資すると共に、周辺景観と調和を図る良好な景観の形成★ 新市民体育館の整備と連携し市民等が利用しやすく、プロスポーツのキャンプ等も誘致できる施設整備に取り組む

施設別整備の方針は、●再整備の方針1、▲再整備の方針2、◆再整備の方針3、■再整備の方針4、★再整備の方針5に対応する（以下、他施設も同様）

3. 浦添運動公園再整備基本構想・基本計画（案）

（2）ゾーニング・動線計画【（2）-5 施設別整備の方針】

① するスポーツ・みるスポーツゾーンⅠの施設整備 ①-1 陸上競技場 【短期的な取組】

デザインイメージ案

プロスポーツ等のキャンプを誘致できる施設整備

- ・ 快適にスポーツ観戦等を楽しめるメインスタンドの整備や、プロスポーツキャンプ等が誘致可能なフィールド整備等を行います。



メインスタンド
(金武町陸上競技場)



サッカーキャンプなど多目的な利用
出典：スポーツコミッション沖縄HP

地域の賑わい創出や地域経済の活性化につながる適切な施設の運営・管理

- ・ 陸上競技場と新市民体育館の一体的な利用等により多様なスポーツの実施やスポーツ観戦が楽しめる施設の運営・管理を行います。
- ・ 災害時の市民等の安全・安心確保の一助となる防災倉庫等の整備を行います。



陸上競技場と体育館の一体的な利用
(田辺スポーツパーク 陸上競技場)
出典：田辺スポーツパークパンフレット



防災倉庫
(大阪府堺市 原池公園)

誰もが利用しやすいユニバーサルデザインを導入した施設整備

- ・ 障がい者や外国人等あらゆる利用者が快適にスポーツや健康づくりに参加できるように、車いす用のスロープや観覧スペースを設けるなど、ユニバーサルデザインを導入した施設整備を行います。



車いす用スロープ



車いす利用者観覧スペース
出典：高齢者、障がい者等の円滑な移動等に配慮した建築設計標準

緑地の適切な再配置及び維持管理や周辺と調和した良好な景観形成

- ・ 自然を身近に感じながらスポーツや健康づくりができる緑地の再配置や維持管理を行い、併設する新市民体育館や周辺の緑地と調和した景観を形成します。



緑地の適切な配置
(豊見城市陸上競技場)




自然を感じスポーツや健康づくりができる緑地空間
(南風原町陸上競技場)

3. 浦添運動公園再整備基本構想・基本計画（案）

（2）ゾーニング・動線計画【（2）-5 施設別整備の方針】


①するスポーツ・みるスポーツゾーンIの施設整備 ①-2新市民体育館【短期的な取組】

<p>ゾーンの整備目標 市民等の競技スポーツや健康増進のためのスポーツ・運動利用に加えて、トップアスリートの競技等の観戦が可能で新たなスポーツ・観光の交流拠点に資するゾーン</p>	
<p>新市民体育館で想定される利用・使用形態 ハンドボール、バスケットボール、バレーボール、フットサル、バトミントン、卓球、プロスポーツ等の試合・大会、eスポーツ、コンサート、MICE等</p>	
<p>新市民体育館の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ プロスポーツ興行やeスポーツなど「みるスポーツ」への対応 ・ 「するスポーツ」への参画を促すためにも魅力ある施設整備 ・ 障がい者スポーツの振興など障がい者利用の推進 ・ 陸上競技場スタンドと新市民体育館との一体的整備による拠点機能の充実 ・ 浦添市らしさを創出する施設整備 ・ 地域防災計画等の位置づけを踏まえた災害対応等の充実 ・ 軍人・軍属を含めた国際交流の推進 ・ 地球環境への配慮の充実 ・ コストセンターからプロフィットセンターへの転換の検討 ・ 時間軸も意識した現市民体育館との機能・役割分担の検討 	<p>他市町村の体育館の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ みることを重視した観客席の整備 ・ 大型スクリーン・LEDディスプレイ等の整備検討 ・ 照明機材の充実検討 ・ 飲食ニーズへの対応の検討 ・ 空調設備の設置検討 ・ 多様な利用を可能とするアリーナ床面の検討 ・ スポーツをはじめ興行・イベント等の多様なニーズに対応する施設・設備の検討 ・ 器具庫・倉庫の充実検討 ・ 利用料についての多様な対応の検討
<p>新市民体育館の整備方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 子どもや高齢者等をはじめ、誰もが利用しやすく、車いす利用者に配慮した施設整備など、ユニバーサルデザインの導入 ● 全ての人々が移動しやすく、利用しやすい案内表示やICTを活用した交流イベント等の情報発信の整備 ▲ 二つの拠点機能の相互補完による多様な利用シーンへの対応 ▲ 競技スタンドと新市民体育館との一体化等による効果的・効率的な施設整備 ▲ 多様な屋内スポーツ・大会ニーズやMICE、コンサート等に対応できるアリーナ・観客席の整備 ▲ 市民をはじめ、観光客が快適かつ機能的にトップアスリートの競技等を観戦できる施設設備の整備 ▲ 災害時は避難所となるほか、現地対策本部等の災害対策活動の本拠機能をもつ施設・設備の整備 ◆ PPP/PFIを活用し、利用者の利便性を高めると共に、地域の賑わい創出や地域経済の活性化につながる適切な施設の運営・管理 ■ 多目的なスポーツの実施が可能で、プロスポーツ等のキャンプを誘致できる施設整備とスポーツ観戦等が楽しめる環境整備 ★ 新たなスポーツ・観光の交流拠点の核となる施設・設備の整備に取り組む 	


3. 浦添運動公園再整備基本構想・基本計画（案）

（2）ゾーニング・動線計画【（2）-5 施設別整備の方針】

① するスポーツ・みるスポーツゾーン I の施設整備 ①-3 相撲場【短期的な取組】

<p>ゾーンの整備目標 市民等の競技スポーツや健康増進のためのスポーツ・運動利用に加えて、トップアスリートの競技等の観戦が可能で新たなスポーツ・観光の交流拠点に資するゾーン</p>	
<p>相撲場で想定される利用・使用形態 相撲、大会等</p>	
<p>相撲場の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 自由に出入りできる形態のために施設管理が困難。 屋外施設のため、犬・猫の糞尿等の被害への対処。 新市民体育館等と一体的な利活用。 	
<p>相撲場の整備方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 子どもや高齢者等をはじめ、誰もが利用しやすく、車いす利用者に配慮した施設整備など、ユニバーサルデザインの導入 ▲ 災害時の避難者への生活支援（ごみ集積所）として必要な機能を確保 ■ 新市民体育館等の周辺運動施設と調和した良好な景観形成 ★ 他運動施設との一体的な利活用を可能にするため新市民体育館と近接して整備し、犬・猫の糞尿等の環境問題に対応した施設管理に取り組む 	

① するスポーツ・みるスポーツゾーン I の施設整備 ①-4 市民球場【中長期的な取組】

<p>ゾーンの整備目標 市民等の競技スポーツや健康増進のためのスポーツ・運動利用に加えて、トップアスリートの競技等の観戦が可能で新たなスポーツ・観光の交流拠点に資するゾーン</p>	
<p>市民球場で想定される利用・使用形態 野球、ソフトボール、プロスポーツ等のキャンプ等</p>	
<p>市民球場の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 経年劣化等により、スタンドや諸室、トイレ、水回り設備等の老朽化・陳腐化 バリアフリーの整備が不十分な箇所があるなど、ユニバーサルデザインの導入が必要。 	
<p>市民球場の整備方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 更新時には、子どもや高齢者等をはじめ、誰もが利用しやすく、車いす利用者に配慮した施設整備など、ユニバーサルデザインの導入 ● 全ての人々が移動しやすく、利用しやすい案内表示やICTを活用した交流イベント等の情報発信の整備 ▲ プロ野球キャンプ時の主要な場所で、かつ、スポーツコンベンションの核となる施設のため、それに相応しい施設の維持管理・更新 ▲ 長寿命化計画を踏まえつつ、スポーツ・観光交流拠点の形成に資するよう施設の維持管理・更新の早期化 ▲ 市民をはじめ、観光客が快適かつ機能的にプロ野球キャンプを観戦できる施設設備の維持管理・更新 ▲ 災害時の避難者への生活支援（避難所・仮設住宅等）として必要な機能を確保 ■ 周辺運動施設と自然景観と調和を図った良好な景観の形成 ★ 利用者のニーズや長寿命化計画等と照らし合わせながら施設の更新等の計画・整備に取り組む。 	

3. 浦添運動公園再整備基本構想・基本計画（案）

（2）ゾーニング・動線計画【（2）-5 施設別整備の方針】

②するスポーツ・みるスポーツゾーンⅡの整備方針 ②-1市民体育館【中長期的な取組】

ゾーンの整備目標

主に市民等の競技スポーツや健康増進のためのスポーツ・運動利用に加えて、子ども等の試合や大会等の観戦ができる**生涯スポーツの推進**や**スポーツ交流**に資するゾーン

市民体育館で想定される利用・使用形態

ハンドボール、バスケットボール、バレーボール、バトミントン、卓球、テニス、市民のスポーツ大会、沖展等

市民体育館の課題

- 施設の老朽化等に伴う雨漏り等への対処。
- 空調（冷房）設備の未設置により、館内の気温や湿度が下がりにくいため、熱中症になる危険性が極めて高いなど、屋内スポーツの競技環境が整っていない。
- 市民・団体の利用率が高いことや観客席数の不足等により、プロスポーツやイベント等の興行でこれ以上の利活用を図ることが困難。
- 車いすでの館内へのアクセス性や専用の観客席・トイレの確保など、バリアフリー対策が不十分。
- 既存市民体育館は主に市民等の利用、一方、新市民体育館は興行の利用など、役割・機能の分担を図るものの、新市民体育館の供用時に既存市民体育館は築39年が経過するため、老朽化・陳腐化の進行や空調（冷房）設備やバリアフリーへの対応など、市民等のニーズへの対応が難しくなる可能性がある。




市民体育館の整備方針

- 更新時には、子どもや高齢者等をはじめ、誰もが利用しやすく、車いす利用者に配慮した施設整備など、ユニバーサルデザインの導入
- ▲ 主に市民等の競技スポーツや健康増進の利用に加えて、子ども等の試合や大会を観戦できる施設整備の維持管理・更新
- ▲ **災害時の保健衛生対策（身元確認所等）として必要な機能を確保**
- ◆ 市民や団体等の利用者が利用しやすい柔軟な施設予約システム等の導入
- 周辺運動施設や自然景観と調和を図った良好な景観の形成
- ★ 既存市民体育館と新市民体育館の役割・機能の分担を継続していくため、既存市民体育館の長寿命化計画を踏まえつつ、市民等のニーズや施設の構造・設備の老朽化等の現状の把握に努め、新市民体育館の利活用と照らし合わせながら、今後の運用や維持管理・更新を検討する。


3. 浦添運動公園再整備基本構想・基本計画（案）

（2）ゾーニング・動線計画【（2）-5 施設別整備の方針】

③するスポーツゾーンの整備方針 ③-1まじゅんランド【中長期的な取組】

<p>ゾーンの整備目標 主に市民等の競技スポーツや健康増進、心身機能の維持・回復、交流等のためのスポーツ・運動利用を担うゾーン ※春季キャンプ時にはゾーンⅠを補完するゾーン</p>	
<p>まじゅんランドで想定される利用・使用形態 水泳、マシンをつかったトレーニング、スタジオレッスン、カルチャースクール等</p>	
<p>まじゅんランドの課題</p> <ul style="list-style-type: none">・ 経年劣化による設備の維持管理・更新・ 施設までのアクセスの分かりやすい案内	
<p>まじゅんランドの整備方針</p> <ul style="list-style-type: none">● 更新時には、子どもや高齢者をはじめ、誰もが利用しやすく、車いす利用者に配慮した施設整備など、ユニバーサルデザインの導入▲ 市民や地域住民・団体等の健康づくりや心身機能の維持・回復、コミュニケーションの促進といった健康増進を支える施設・設備の更新▲ 災害時の避難者への生活支援（入浴場等）として必要な機能を確保◆ 利用者の利便性を高めると共に、健康増進や地域内の交流創出につながる施設の運営・管理★ 利用者のニーズや長寿命化計画等を踏まえ施設・設備の維持管理・更新に取り組む	


③するスポーツゾーンの施設整備 ③-2多目的屋内運動場【中長期的な取組】

<p>ゾーンの整備目標 主に市民等の競技スポーツや健康増進、心身機能の維持・回復、交流等のためのスポーツ・運動利用を担うゾーン ※春季キャンプ時にはゾーンⅠを補完するゾーン</p>	
<p>多目的屋内運動場で想定される利用・使用形態 テニス、フットサル、ドッジボール、野球練習等、保育園や幼稚園の運動会、プロ野球キャンプ時の練習場</p>	
<p>多目的屋内運動場の課題</p> <ul style="list-style-type: none">・ 人工芝やネット等の内装材や窓等の外装材の経年劣化に対応した維持管理・更新・ 豪雨時には施設内の冠水が生じ、利用が困難になる。・ プロ野球キャンプ時に隣接する広場に仮設ブルペンを設置するために毎年度費用がかかる	
<p>多目的屋内運動場の整備方針</p> <ul style="list-style-type: none">▲ 市民等のスポーツ参加や健康づくりと、プロスポーツキャンプ等のスポーツコンベンションにも寄与する施設・設備の更新▲ 施設周辺にプロ野球キャンプ時に機能的に球団が利用できると共に、キャンプ観戦の魅力向上させるブルペンの整備▲ 災害時の生活支援物資の荷捌き及び保管場所として必要な機能を確保◆ 利用者の利便性を高めると共に、健康増進や地域内の交流創出につながる施設の運営・管理★ 利用者のニーズや長寿命化計画等を踏まえスポーツコンベンションにも寄与する施設・設備の更新に取り組む	


3. 浦添運動公園再整備基本構想・基本計画（案）

（2）ゾーニング・動線計画【（2）-5 施設別整備の方針】

③するスポーツゾーンの整備方針 ③-3多目的屋外運動場【中長期的な取組】

<p>ゾーンの整備目標 主に市民等の競技スポーツや健康増進、心身機能の維持・回復、交流等のためのスポーツ・運動利用を担うゾーン ※春季キャンプ時にはゾーンⅠを補完するゾーン</p>	
<p>多目的屋外運動場で想定される利用・使用形態 野球、ソフトボール、グラウンドゴルフ、プロ野球キャンプ時の練習場等</p>	
<p>多目的屋外運動場の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 自由に出入りできる形態のために施設管理が困難。 雨天時に水が溜まりやすく、その後の排水に時間がかかり、施設の使用に支障が生じている場合がある。 屋外施設のため、犬・猫の糞尿等の被害への対処。 市民球場等と一体的な利活用。 	
<p>多目的屋外運動場の整備方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ▲ 市民等のスポーツ参加や健康づくりなど、生涯スポーツを支える施設の維持管理と、プロスポーツキャンプ等のスポーツコンベンションの推進にも寄与する施設・設備の更新 ▲ 災害時の避難者への生活支援（給水や炊き出し等）として必要な機能を確保 ★ 利用者のニーズや長寿命化計画等を踏まえスポーツコンベンションにも寄与する施設・設備の更新に取り組む 	


③するスポーツゾーンの施設整備 ③-4スケートボード広場【中長期的な取組】

<p>ゾーンの整備目標 主に市民等の競技スポーツや健康増進、心身機能の維持・回復、交流等のためのスポーツ・運動利用を担うゾーン ※春季キャンプ時にはゾーンⅠを補完するゾーン</p>	
<p>スケートボード広場で想定される利用・使用形態 スケートボード、ローラースケート等</p>	
<p>スケートボード広場の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 新市民体育館整備に伴い受電所が設置されるため、敷地が手狭となる。 自由に出入りできる形態のために施設管理が困難なことや、夜間の無断使用など、周囲に人がいない時間帯での事故・ケガへの対応が困難である。 	
<p>スケートボード広場の整備方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ●★利用者のニーズや利用状況を踏まえ、スケートボード広場として機能を維持できる敷地の確保・整備 ■ 市民等の快適な利用と、スポーツコンベンションの推進にも寄与する施設・設備の更新 	


3. 浦添運動公園再整備基本構想・基本計画（案）

（2）ゾーニング・動線計画【（2）-5 施設別整備の方針】

④交流ゾーンの整備方針 ④-1売店施設【短期的な取組】

<p>ゾーンの整備目標 オープンスペースを利用したイベントや魅力ある便益施設などにより賑わいを生み出し、運動公園内の交流の核となるゾーン</p>	
<p>売店施設で想定される利用・使用形態 休憩、飲食（休日、イベント時）</p>	
<p>売店施設の課題</p> <ul style="list-style-type: none">・ 利用者の休憩や飲食利用などのニーズに対応した施設の運営・ トイレなどの経年劣化による設備等の維持管理・更新	
<p>売店施設の整備方針</p> <ul style="list-style-type: none">▲◆Park-PFIの活用も含め利用者の休憩や飲食利用のニーズに対応した、魅力ある便益施設の運営や環境の整備▲★利用者のニーズに対応した施設運営や、老朽化・陳腐化を踏まえた施設・設備の維持管理・更新に取り組む■ 周辺の運動施設、自然、オープンスペースが調和した景観の形成■ 広場と一体でスポーツイベントなどと連携し賑わいを生み出す魅力ある公園づくりの取組	

④交流ゾーンの整備方針 ④-2広場【短期的な取組】

<p>ゾーンの整備目標 オープンスペースを利用したイベントや魅力ある便益施設などにより賑わいを生み出し、運動公園内の交流の核となるゾーン</p>	
<p>広場で想定される利用・使用形態 イベント、自然とのふれあい、災害時の避難等</p>	
<p>広場の課題</p> <ul style="list-style-type: none">・ 新市民体育館の整備に伴うスペースの維持確保・ 各運動施設でのイベントや各ゾーンと一体で賑わいを生み出す広場の効果的な活用	
<p>広場の整備方針</p> <ul style="list-style-type: none">● 自然を感じる水辺やみどりを活かし、賑わい・交流の創出につながるイベントの実施を可能にするオープンスペースの整備● 各施設に誘導する案内表示や、ICTを活用した施設情報発信の整備▲ 災害時の仮設トレイの設置や柔軟に対応できるオープンスペースとして機能を確保■ 周辺の運動施設、自然、オープンスペースが調和した景観の形成■ メインエントランスや他ゾーンと一体的にイベント等を実施するなど、運動公園の交流・憩いの場の核となる賑わい・魅力ある空間づくり■ 売店施設と広場を一体利用した交流イベントなど魅力ある公園の運営★ 新市民体育館の整備と連携して交流の核となるオープンスペースを確保し、地域に波及する賑わいを生み出す空間整備に取り組む	

3. 浦添運動公園再整備基本構想・基本計画（案）

（2）ゾーニング・動線計画【（2）-5 施設別整備の方針】

④交流ゾーンの整備方針 ④-1売店施設、④-2広場【短期的な取組】

デザインイメージ案

周辺の各ゾーンと一体となったスポーツイベントや地域イベントの実施

- ・みるスポーツゾーンでのプロスポーツの試合やキャンプと一体となったスポーツイベントの実施など賑わいを創出する魅力ある公園の運営を行います。



プロスポーツキャンプと一体となったイベントの実施



賑わいを創出する公園運営

利用者ニーズに対応した魅力ある便益施設の運営や環境の整備

- ・公園内でゆっくり過ごすことができる休憩スペースや飲食利用のニーズに対応した便益施設の運営を行います。



公園内のカフェ
(大阪府堺市 大仙公園)



公園内の屋外レストランエリア
(大阪府堺市 大仙公園)

イベントや災害時の利用にも対応できるオープンスペースの整備

- ・地域イベントの実施や多様な公園利用を可能にするオープンスペースの整備を行います。
- ・災害時の利用にも対応できる防災機能を確保します。



オープンスペースでの
地域イベントの実施



災害時に利用できるオープン
スペースの整備（仮設トイレ）

各施設に誘導する案内表示や、ICTを活用した施設情報発信の整備

- ・利用者を各施設に分かりやすく誘導する案内表示や各施設のイベント情報などを発信できる情報発信設備を整備します。



バリアフリー情報を記載した案内表示



多言語表記による各施設への案内表示

出典：福山市「EnLee」 (<https://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/soshiki/koen/231428.html>)

出典：国土技術政策総合研究所資料「防災公園の計画・設計・管理運営ガイドライン（改訂第2版）」

出典：国土交通省「都市公園の移動円滑化整備ガイドライン」

3. 浦添運動公園再整備基本構想・基本計画（案）

(2) ゾーニング・動線計画【(2)-5 施設別整備の方針】

⑤ **メインエントランスゾーン**の整備方針 ⑤-1 **立体駐車場**【**短期的な取組**】

ゾーンの整備目標

市内外からの利用者を迎え入れるとともに、オープンスペースを利用したイベントや交流ゾーンとの連携により賑わいや交流を生み出す**公園の顔**となるゾーン

立体駐車場で想定される利用・使用形態

利用者の駐車、各施設へのアクセス

立体駐車場の課題

- ・ イベント時の駐車スペースの不足や大型バスなどの駐車スペースの確保
- ・ 障がい者用の駐車スペースの確保
- ・ 目的外利用による駐車への対応
- ・ 新体育館整備に伴う連結部分の取り壊しによる園路までのアクセス

立体駐車場の整備方針

- はじめて訪れる利用者にも分かりやすく、各施設にアクセスできる案内表示等の整備
- 自家用車やレンタカー、観光バスなどのアクセスに対応した駐車スペースの適切な運用と**確保**
- 車いす利用者等の障がい者用車両のスペース確保や、誰もが利用しやすいユニバーサルデザインによる整備
- 有料化を含めた今後の適切な運用に対応した施設・設備の更新
- 周辺の自然環境や沿道のまちなみと調和した景観の形成
- ★ **立体駐車場は正面入口や新市民体育館、園路の整備と連携して、利用者が円滑に移動できるよう空間整備に取り組む**



⑤ **メインエントランスゾーン**の整備方針 ⑤-2 **園路**【**短期的な取組**】 ※ 園路は⑧**緑地・緩衝ゾーン**にも含まれる

ゾーンの整備目標

市内外からの利用者を迎え入れるとともに、オープンスペースを利用したイベントや交流ゾーンとの連携により賑わいや交流を生み出す**公園の顔**となるゾーン

園路で想定される利用・使用形態

各運動施設へのアクセス、散歩やジョギング、関係者車両等の移動

園路の課題

- ・ 新体育館整備に伴う正面入口から中央噴水広場までの軸線の喪失
- ・ 地形による高低差や段差の解消、木陰の確保やベンチの配置、バリアフリーへの配慮
- ・ 各施設までのアクセスが分かりやすい園路構成や案内表示

園路の整備方針


- 観光客等のはじめて訪れる利用者であっても、目的施設まで分かりやすく誘導する園路構成と案内表示や園内放送等の整備
- 高低差の中でも高齢者や車いす利用者、ベビーカー利用者をはじめ、誰もが利用しやすいユニバーサルデザインによる整備
- 散歩やジョギングをはじめ利用者が、車両が通行する区間においても安全・安心に歩行できる空間の確保
- ▲ **災害時に避難者が一時避難場所まで安全・安心に避難できる園路空間の整備**
- 散歩やジョギングをはじめ利用者が、心地よく感じる周囲の各運動施設や緑地などの自然環境と調和した景観の形成
- ★ **園路は正面入口や新市民体育館、立体駐車場、交流ゾーンの整備と連携して、賑わいや交流を生み出すよう空間整備に取り組む**




3. 浦添運動公園再整備基本構想・基本計画（案）

(2) ゾーニング・動線計画【(2)-5 施設別整備の方針】

⑤メインエントランスゾーンの整備方針 ⑤-3正面入口【短期的な取組】

<p>ゾーンの整備目標 市内外からの利用者を迎え入れるとともに、オープンスペースを利用したイベントや交流ゾーンとの連携により賑わいや交流を生み出す公園の顔となるゾーン</p>	
<p>正面入口で想定される利用・使用形態 利用者の入退園、待合せ</p>	
<p>正面入口の課題</p> <ul style="list-style-type: none">園路の付け替えによる正面入口の位置新体育館整備に伴う正面入口から中央噴水広場までの軸線の喪失	
<p>正面入口の整備方針</p> <ul style="list-style-type: none">はじめて訪れる利用者にも分かりやすく、各施設にアクセスできる入口の配置検討及び案内表示等の整備市内外から公共交通等の多様な交通手段で訪れる利用者のアクセス性の確保高齢者や車いす利用者、ベビーカー利用者をはじめ、誰もが利用しやすいユニバーサルデザインによる整備▲新市民体育館や交流ゾーン等と一体で地域の賑わいや交流を生み出すイベントの実施や災害時の利用にも柔軟に対応できる空間の整備■市内外からの利用者を迎え入れる顔になる空間であり、まちなみと調和した景観の形成★ 正面入口は新市民体育館や園路、交流ゾーン等の整備と連携して、公園の顔となるエントランス空間の整備	

⑥エントランスゾーンの整備方針 ⑥-4国道入口【短期的な取組】

<p>ゾーンの整備目標 サブエントランスとして、徒歩やバス等の公共交通による利用者を緑陰等で迎え入れ、交流や憩いの場を生み出すとともに、緊急車両の進入を確保するなど、安全・安心や防災の機能をもつゾーン</p>	
<p>国道入口で想定される利用・使用形態 利用者の入退園、国道330号からの車両の進入</p>	
<p>国道入口の課題</p> <ul style="list-style-type: none">車両と歩行者の安全性の確保	
<p>国道入口の整備方針</p> <ul style="list-style-type: none">はじめて訪れる利用者にも分かりやすく、各施設にアクセスできる案内表示等の整備市内外から公共交通等の多様な交通手段で訪れる利用者のアクセス性の確保高齢者や車いす利用者、ベビーカー利用者をはじめ、誰もが利用しやすいユニバーサルデザインによる整備● 車両の出入口や車路の整備では車両と利用者が交差しないよう安心・安全に散歩やジョギング、待ち合わせ等ができる空間の整備▲ 災害時の大型緊急車両の進入や被災者が一時避難場所まで安全に避難できる空間の整備■ 国道沿道のまちなみや陸上競技場の再整備と調和した景観の形成★ 陸上競技場整備と連携して、緑陰等で迎え入れ、交流や憩いの場を生み出すエントランス空間の整備	

3. 浦添運動公園再整備基本構想・基本計画（案）

（2）ゾーニング・動線計画【（2）-5 施設別整備の方針】

⑤メインエントランスゾーンの整備方針 ⑤立体駐車場、園路、正面入口【短期的な取組】

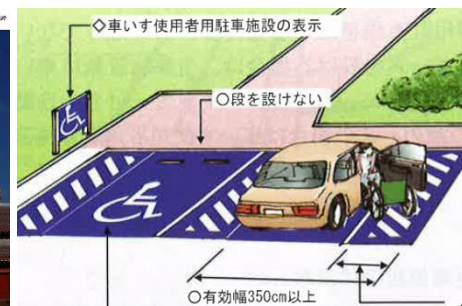
デザインイメージ案

利用者を迎え入れる顔になる空間、まちなみと調和した景観

- ・ はじめて訪れる利用者にも分かりやすい顔になる空間の整備を行います。
- ・ 利用者を各施設に分かりやすく誘導する案内表示等の整備を行います。

駐車スペースの適切な運用と増設

- ・ 有料化を含めた今後の適切な運用に対応した施設・設備の更新を行います。
- ・ 観光バスなどのアクセスへの対応や障がい者用車両スペース等を確保します。



利用者を迎え入れる顔になる
エントランス空間の整備
出典：東京都「有明アーバンスポーツ
パーク整備運営事業提案概要」

各施設にアクセスできる
案内表示等の整備
(大阪府堺市 原池公園)

バス駐車場の予約制導入
出典：沖縄県営首里城公園駐車場

車いす利用者等の障がい者用
車両のスペース確保

出典：日本公園緑地協会「ユニバーサルデザインによるみんなのための公園づくり」

誰もが利用しやすいユニバーサルデザインによる園路等の整備

- ・ 車両が通行する区間においても、利用者が安全・安心に歩行やジョギング等できる園路空間の整備を行います。
- ・ 利用者を各施設まで分かりやすく誘導する園路構成にします。

多様な交通手段によるアクセス性の確保

- ・ 運動公園まで多様な交通手段で訪れることができるアクセス性の確保を図ります。



目的施設まで分かりやすく誘導する園
路構成と案内表示
出典：国土交通省「都市公園の移動円滑化整備
ガイドライン」

安全・安心に歩行できる
園路空間の整備
(大阪府堺市 原池公園)


電動アシスト付きの
スポーツバイク等の設置
出典：国交省「シェアサイクル事業の導入・運営
のためのガイドライン（仮称）（案）」

電動キックボード


3. 浦添運動公園再整備基本構想・基本計画（案）

（2）ゾーニング・動線計画【（2）-5 施設別整備の方針】

⑦ 憩いゾーンの整備方針 ⑦-1 遊具広場【中長期的な取組】

<p>ゾーンの整備目標 高低差のある特徴的な地形や自然を感じながら休息・交流等ができるゾーン</p>	
<p>遊具広場で想定される利用・使用形態 子どもの遊び場、休憩、交流、散歩等</p>	
<p>遊具広場の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平時とイベント時ともに、低未利用の空間 ・ 各運動施設でのイベントや各ゾーンと連携して賑わいを生み出す広場の効果的な活用 	
<p>遊具広場の整備方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 子どもの遊びや自然を感じながら休憩や交流等ができる緑地の適切な配置及び維持管理 ● 地域のコミュニティの交流や賑わい創出につながるオープンスペースを活用した交流促進 ● 高低差があっても移動しやすく、園内の各施設にアクセスしやすいユニバーサルデザインや案内表示等の整備 ▲◆ 海が見える眺望の良さや低未利用地の空間を活かしPark-PFIを活用した利用者の利便性を高める魅力ある便益施設の導入 ■ 周辺の住宅街等のまちなみと調和した自然豊かな景観形成 ■ 身近な魅力ある公園を持続するための市民・地域住民・事業者・行政の協働・共創による公園づくり ★ 利用者のニーズ等を踏まえながら低未利用地の有効利用を検討し、遊具・便益施設等の導入等に取り組む 	

⑦ 憩いゾーンの整備方針 ⑦-2 オープンスペース、関係者入口【中長期的な取組】

<p>ゾーンの整備目標 高低差のある特徴的な地形や自然を感じながら休息・交流等ができるゾーン</p>	
<p>オープンスペースで想定される利用・使用形態 休憩、交流、散歩、関係者車両の進入等</p>	
<p>オープンスペースの課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各運動施設でのイベントや各ゾーンと連携して賑わいを生み出す広場の効果的な活用 	
<p>オープンスペースの整備方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 子どもの遊びや自然を感じながら休憩や交流等ができる緑地の適切な配置及び維持管理 ● 地域のコミュニティの交流や賑わい創出につながるオープンスペースを活用した交流促進 ● 高低差があっても移動しやすく、園内の各施設にアクセスしやすいユニバーサルデザインや案内表示等の整備 ▲◆ 沿道からのアクセス性を活かしPark-PFIを活用した利用者の利便性を高める魅力ある便益施設の導入 ▲ 災害時の大型緊急車両の進入や避難者が一時避難場所まで安全・安心に避難できる園路空間の整備 ■ 沿道のまちなみと緑地空間の調和した自然豊かな景観形成 ■ 身近な魅力ある公園を持続するための市民・地域住民・事業者・行政の協働・共創による公園づくり ■ 沿道にある特性を活かし周辺に波及する市民・地域住民・事業者・行政の協働・共創によるオープンスペースを活用したまちづくり ★ 各運動施設でのイベント等と連携して賑わいや交流を生み出すオープンスペースの有効利用を検討し、便益施設等の導入等に取り組む 	

3. 浦添運動公園再整備基本構想・基本計画（案）

（2）ゾーニング・動線計画【（2）-5 施設別整備の方針】

⑧ 緑地・緩衝ゾーンの整備方針 ⑧-1 緑地空間【短期・中長期的な取組】

<p>ゾーンの整備目標 地域の貴重な緑地空間であるとともに、自然を身近に感じながらスポーツ、健康づくり交流に資するとともに、周辺の住宅街や道路との緩衝帯の役割を担うゾーン</p>	
<p>緑地空間で想定される利用・使用形態 自然との触れ合い、住宅地との緩衝帯、景観形成</p>	
<p>緑地空間の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> グリーンインフラとしての緑地の保全・利活用 運動施設や園内の利用及び管理への支障 	
<p>緑地空間の整備方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 自然を感じながら散歩やジョギングなどの健康づくりや、休憩、交流等ができる緑地空間の保全 ● 運動施設や園内の利用及び管理への支障のない樹木の適正な配置及び維持管理 ● 防災機能を担うグリーンインフラとしての緑地の保全・利活用 ◆ 周辺の住宅街や道路との緩衝帯の役割を担う緑地の適切な維持管理 ■ 市の緑の拠点として緑地空間の保全と地域の緑の骨格を形成する丘陵の自然景観の形成 ■ 自然豊かで魅力ある公園を持続するための市民・地域住民・事業者・行政の協働・共創による緑地の維持管理 ★ 新市民体育館や陸上競技場等の整備と連携して緑地の適正な配置や保全に取り組み、市の緑の拠点として中長期的な維持管理に取り組む 	

デザインイメージ案

自然を感じながら散歩やジョギングできる緑地空間の保全や運動施設、園内の利用及び管理に支障のない樹木の適正な配置及び維持管理

- 自然を感じながら散歩やジョギングできる園路等の緑地空間を保全します。
- 園内の利用及び管理に支障のない樹木の適正な配置及び維持管理を行います。



自然を感じながら散歩やジョギングできる園路の緑地空間



移動等の妨げにならない樹木の適正な配置

出典：日本公園緑地協会「ユニバーサルデザインによるみんなのための公園づくり」

多様な役割を担うグリーンインフラであるとともに市の緑の拠点、丘陵の自然景観を形成する緑地空間として保全・利活用する

- 緩衝帯の役割や防災機能など多様な役割機能を担う緑地の保全・利活用をします。
- 市の緑の拠点並びに丘陵の自然景観として緑地空間を保全します。



緩衝帯としての役割



丘陵の自然景観の形成

3. 浦添運動公園再整備基本構想・基本計画（案）

（3）運営管理計画【（3）-1 民間活力の活用の方針】

公園施設や新たに整備する（仮称）浦添市多目的運動施設（新市民体育館）及びその他の運動施設について、利用者の利便性を高めると共に、地域の賑わい創出や地域経済の活性化につながる適切な運営・管理を行うため、民間活力（官民連携）の導入の可能性を検討します。

① 公園及び運動施設の民間活力の活用の方針

公園及び運動施設の将来像や整備方針に基づき、民間活力を導入した運営・管理手法の検討を行う。

また、民間活力の導入の可能性を高めるため、各種調査や市民等のアンケートの結果を踏まえ、利用者のニーズや公園及び運動施設のポテンシャルに基づき、民間事業者の参入意欲を高める事業内容を検討する。

【公園施設】

公園施設については、**園路、広場等の公園施設**の運営・管理について、民間活力の導入の可能性を検討する。

また、公園敷地の一部については、**Park-PFI**制度を活用し、法的規制や民間事業者の意向を踏まえ、民間収益施設の設置位置や範囲について検討を行う。

Park-PFI活用の検討案

公募対象公園施設	飲食店、売店等の収益施設
特定公園施設	園路、広場等

【運動施設】

運動施設については、**新市民体育館及び新市民体育館を除く運動施設等（陸上競技場、屋内運動場等）**の運営・管理について、民間活力の導入の可能性を検討する。

なお、新市民体育館については、公共による施設整備後の管理・運営について、法的規制や民間事業者の意向を踏まえ、**PFI（コンセッション方式）**の活用を検討する。

新市民体育館の事業方式検討案

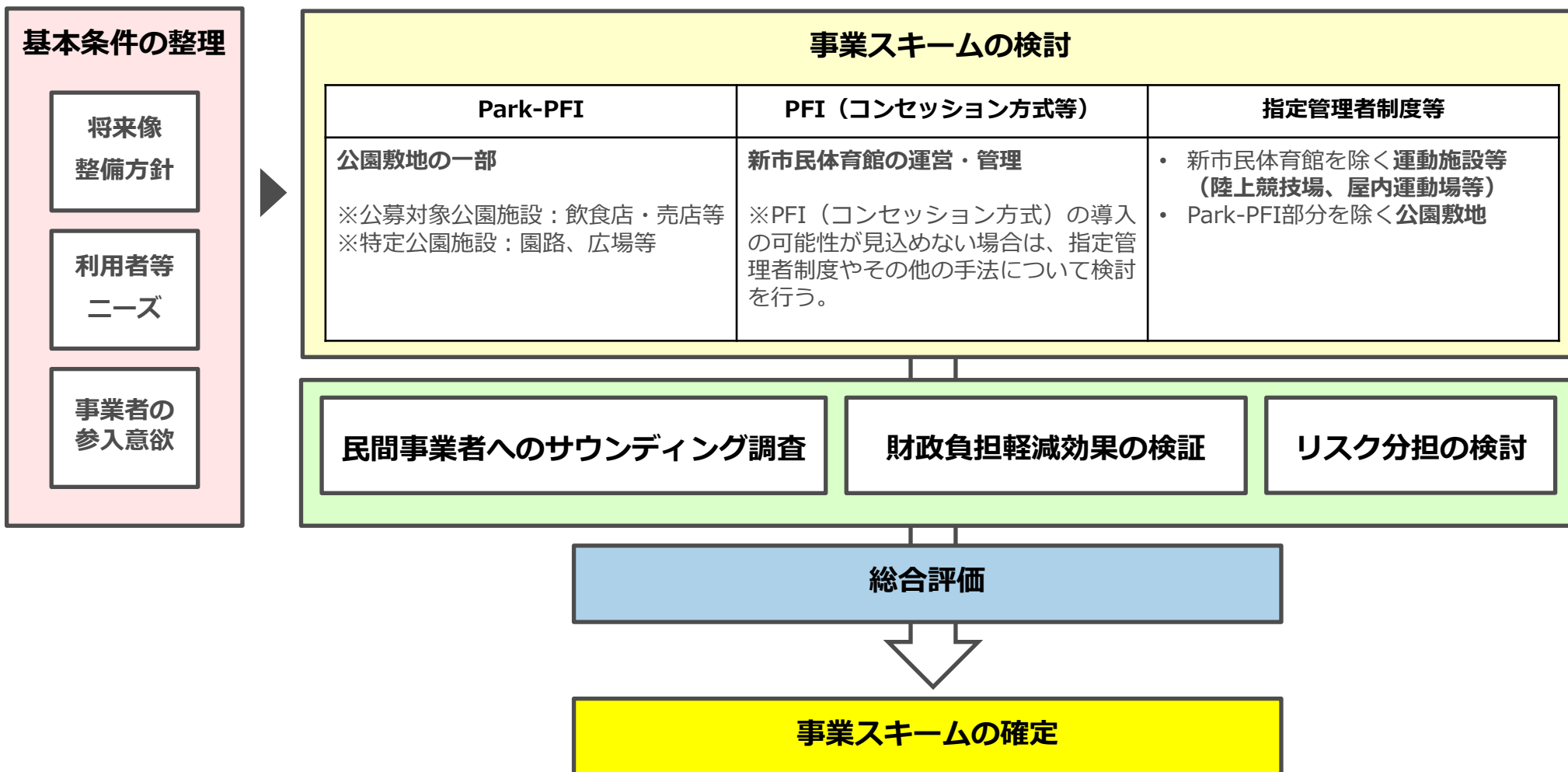
企画・計画	公共
資金調達（建設関連）	
設計	
建設	民間 （PFI（コンセッション） or 指定管理 or その他）
維持管理・運営	

3. 浦添運動公園再整備基本構想・基本計画（案）

(3) 運営管理計画【(3)-2 運営管理手法の検討フロー】

- 基本構想・基本計画の策定後、令和5年度に新市民体育館を含めた浦添運動公園全体の運営・管理手法を検討します。

② 今後の運営・管理手法の検討フロー図



3. 浦添運動公園再整備基本構想・基本計画（案）

（4）民間企業へのサウンディング調査の実施について

- 本調査は、新市民体育館の管理・運営において民間活力の活用の可能性を高めるため、民間事業者の意見等や事業参画の可能性を把握し、事業化に向けた事業スキームを検討することを目的に実施しました。

日時	実施内容	備考
令和5年6月12日（月）	1.実施要領の公表	
令和5年6月12日（月）～6月28日（火）	2.説明会申込受付	
令和5年6月30日（金）午後2時～	3.説明会の開催（現地、WEB併用）	参加企業：8社、参加人数：11人（現地参加8人、WEB参加3人）
令和5年6月30日（金）～7月18日（火）	4.質問の受付及び対応	質問企業：1社
令和5年6月12日（月）～7月25日（火）	5.サウンディング調査申込期間	申込企業：4社
令和5年7月25日（火）	6.アンケート調査票提出期限	
令和5年7月26日（水）～8月10日（木）	7.サウンディング調査の実施	実施企業：4社
令和5年9月中旬予定	8.実施結果の公表	

アンケートの主な内容

- 観るスポーツ施設への整備内容に関する要望等
- 観るスポーツ施設の整備以外で、本事業内容に関する要望等
- PFI（コンセッション方式）の実施の実現性
- 実現するための諸条件・課題等
- 事業期間について
- 本事業への参入意向
- 本事業への参入形態
- 想定される事業のイメージや内容等
- 必要な情報
- より参入意欲が高まるための条件や要望等



説明会（現地会場）



説明会（現地説明）

3. 浦添運動公園再整備基本構想・基本計画（案）

（4）民間企業へのサウンディング調査の実施について

調査結果のまとめ

- ・ サウンディング調査に申込のあった民間事業者には、事前にアンケート調査を実施し、サウンディング時にアンケート回答をもとに、個別に意見交換を行った。民間事業者の回答については、アイデアやノウハウの保護に配慮し、一部抜粋して以下に示します。

No	主な質問事項	民間事業者の主な回答
1	事業の実現性（民間の収益性）をより高めるため、観るスポーツ施設への整備内容についての要望等	「大型ビジョン、照明、音響、その他興行用の設備の整備が必要である」などの回答があった。
2	観るスポーツ施設への整備以外で、本事業内容についての要望等（ハード面やソフト面）	「駐車スペースの確保が必要である」などの回答があった。
3	PFI（コンセッション方式）の実施の実現性について	「条件によっては可能である」又は「わからない」との回答があった。
4	本事業への参入意向	「参入希望」又は「事業に興味があり、参入を検討したい」との回答があった。
5	参集する場合の事業方式について	「PFI（コンセッション方式等）で運営」と回答する民間事業者ほか、条件によっては「指定管理又は委託で管理」との回答もあった。 また、「浦添運動公園や運動施設全体の管理も含めて検討したい」との回答があった。全体的に「詳細な情報を得た上で方法を検討したい」との意見であった。
6	本事業への参入形態について	「もう少し情報を得た上で検討したい」との回答があった。
7	今回提示した情報の他に、必要な情報	「官民のリスク分担」、「官民の費用負担」、「事業実施期間」、「緊急・災害時対策」などの回答があった。

■ サウンディングの結果

立地等から公園及び運動施設のポテンシャルは高く、民間活力の導入の可能性はあるという意見をいただいた。しかしながら、事業スキームについて、PFI（コンセッション方式）の可能性も考えられるが、条件によっては指定管理者制度で管理したいという旨の意見があった。

■ 今後の検討について

PFI(コンセッション方式等)の実現性や事業者の参入意向について概ね確認できたことから、今後の運営管理手法の検討において、事業者の求める情報の提供等を行いながら、事業の実現に向けて意見交換を継続していく。

また、今回の意見・要望については観るスポーツの施設整備の実施設設計へ反映できるか検討していく。

3. 浦添運動公園再整備基本構想・基本計画（案）

（4）今後のスケジュール【（4）-1 今後のスケジュール】

		令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度			令和8年度			令和9年度
		4月	8月	12月	4月	8月	12月	4月	8月	12月	4月	8月	12月	4月	8月	12月	
新市民体育館 （本体工事）		実施設計			関連工事			本体工事			本体工事			供用開始予定			
浦添運動公園再整備事業	基本構想・基本計画		基本構想・計画		R5.9												
	新市民体育館 （観るスポーツの施設整備）				R5.9 実施設計						整備工事						
	陸上競技場 整備工事				R5.9 基本設計			実施設計			整備工事			整備工事			
	園路・駐車場 整備工事				R5.9 基本設計			実施設計			整備工事			整備工事			
	運営管理手法 検討業務				R5.9 運営管理手法検討			運営管理の公募									
再整備検討委員会				★12	★4	★	★	★	★	★	★			★			

※上記スケジュールは令和5年8月時点のものです。事業の進捗状況により内容が変更になることがあります。

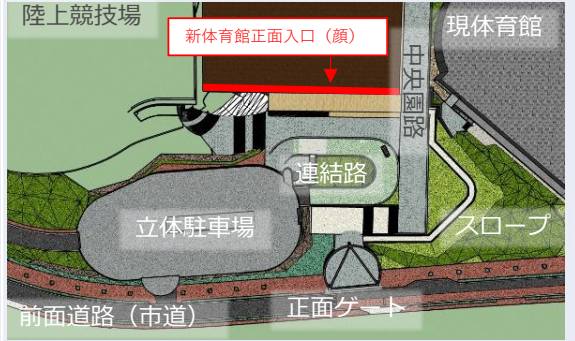
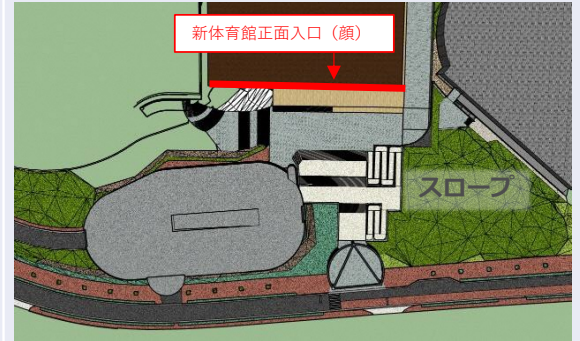
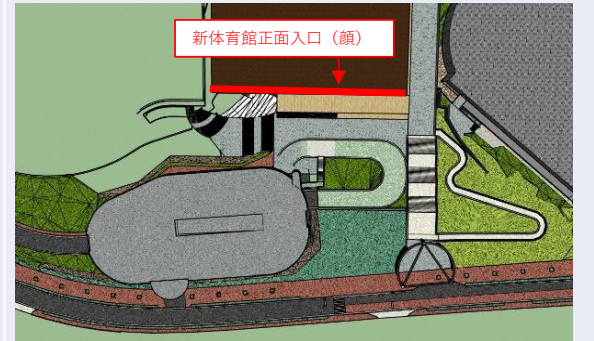
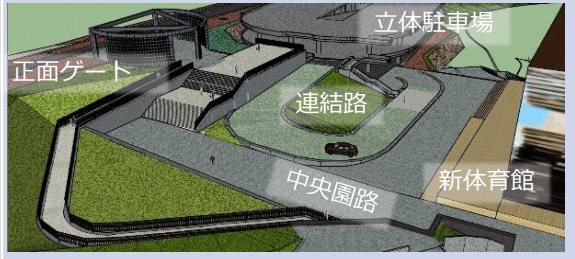


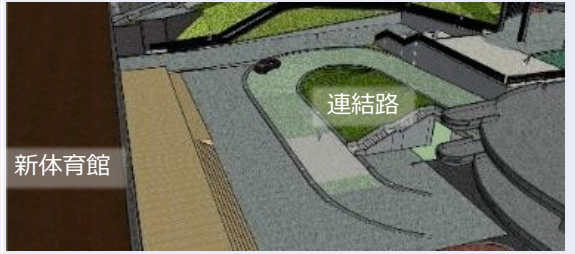

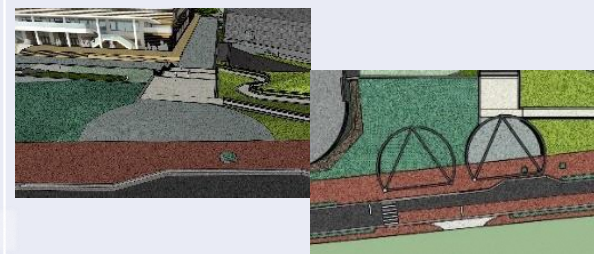
3. 浦添運動公園再整備基本構想・基本計画（案）

（4）今後のスケジュール【（4）-2 ロードマップ】

課 題	2023	短期（5年未満）	2028	中期（5～10年未満）	2032	長期（10年以降）
			ウラボソイ スポーツ観光交流 拠点形成推進事業			
まちなかにある立地や特徴的な地形等を活かした公園づくり ○利用者の利用目的・形態に応じた利用空間の整備 ○グリーンインフラとしての保全・利活用 ○人と人とのつながり、リアルな交流を生み出す場 ○利用者のアクセス性向上、駐車スペースの確保		公園・運動施設へのユニバーサルデザインの適用 園路の再整備 案内表示の再整備 適切な運用と駐車スペースの増設 緑地の適正な配置 オープンスペースの配置		ICTを活用した交流イベント等の情報発信 オープンスペース等を活用した交流促進 公共交通利用促進		
安全・安心で誰もが利用しやすく、楽しめる公園づくり ○老朽・陳腐化した施設・設備の魅力向上・機能強化 ○観るスポーツの楽しみ方の提供 ○便益施設（飲食店等）の魅力・利便性向上 ○既存市民体育館の今後の運用		陸上競技場の再整備 観るスポーツの施設整備 公園・運動施設へのユニバーサルデザインの適用 プロスポーツのレベルに合わせた施設整備 地域防災計画と連携した防災機能の確保 既存市民体育館の運用方針の検討		運動施設・設備の更新 Park-PFIを活用した便益施設の導入		
公園・運動施設の持続可能な管理運営 ○公園・運動施設・設備の適切な維持管理・更新 ○民間活力等による財源の効率化 ○収益確保による財政の負担軽減		公園・運動施設の運営・管理手法の見直し		新市民体育館のPFI(コンセッション方式)等による管理・運営 Park-PFIを活用した便益施設の導入 協働による公園の維持管理		
スポーツを通じて活力あるまちづくりの推進 ○上位・関連計画や施策と連携した再整備計画 ○市民・地域住民・事業者・行政の協働・共創による公園づくり ○スポーツコンベンションの推進 ○プロスポーツの実施、スポーツキャンプ地の誘致		上関連計画の改定及び再整備計画を踏まえた市計画の改定 部局横断による庁内協力体制の構築 スポーツコンベンション誘致戦略の策定 プロスポーツのレベルに合わせた施設整備		市民・地域住民・事業者等の持続的な活動や取組み		

4. エントランスゾーンの整備（案）

正面ゲートから新設アリーナへの園路について以下の3案で検討を行った。（※イメージ図）

項目	第1案 現状復旧案	第2案 園路拡幅案	第3案 園路直線案
概要	現在ある機能をそのまま復旧	車路を復旧せず、その空間を園路に利用	正面ゲートを移動して園路を直線とする
パース図 (平面)			
パース図 (正面)			
各詳細			

4. エントランスゾーンの整備（案）

- ・各案の特徴等から、メリット・デメリットを整理しました。
- ・浦添市景観まちづくり審議会（令和5年6月13日開催）からの主な意見は以下のとおり。

項目	第1案 現状復旧案	第2案 園路拡幅案	第3案 園路直線案
特徴・注記	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新施設建設課の車路復旧案に合わせて園路および車路を設置 ・ 立体駐車場の連結路の維持復旧 ・ 園路の導線が直線ではない 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 立体駐車場の連結路の撤去 ・ 代替として乗入口を設置(利便性の低下) ・ 園路の導線が直線的で幅員が最も広い 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 立体駐車場の連結路の維持復旧 ・ 正面ゲートの移設が必要 ・ 周辺と調整(信号機,横断歩道,駐車場等)が必要 ・ 園路の導線を直線で確保できる
メリット	<ul style="list-style-type: none"> ・ 立体駐車場の利便性を維持できる ・ 既存正面ゲートを流用 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 既存正面ゲートを流用 ・ 導線が直線であり、移動の円滑性に優れる ・ アリーナ前に広いスペースを確保できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 立体駐車場の利便性を維持できる ・ 導線が直線であり、移動の円滑性に最も優れる
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> ・ 導線が直線ではないため移動の円滑性に劣る ・ アリーナの前に車路があるためスペースを広く確保できない 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 立体駐車場の昇降機能のための乗入口を設置するが、距離が遠く利便性に劣る 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 正面ゲートの移設が必要 ・ アリーナの前に車路があるためスペースを広く確保できない ・ ゲート移設に伴い路面標示の移設が必要
景観まちづくり審議会意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2案はスロープが迷路のようでわかりにくい。正面に新施設の顔を作ると良い。 ・ 第3案のように正面入り口を移動することにより、空間ができ、利用価値が上がるのでは。 ・ 今後、新施設の顔がどこになるのかを含めアプローチするよう検討いただきたい。 ・ アリーナが今のままの計画であれば、アリーナの前面に空間ができる案の方が望ましい。 		

4. エントランスゾーンの整備（案）

・今後のエントランスゾーンの再整備の検討にあたり、以下事項について検討委員会の意見を伺いたい。

項目	第1案 現状復旧案	第2案 園路拡幅案	第3案 園路直線案
駐車場連結路	あり	なし	あり
アリーナ前の空間	狭い	広い	狭い
正面ゲートの移設	なし	なし	あり
入口周辺の空間	入口右側に確保可能（小）	入口右側に確保可能（大）	入口左側に確保可能（中）
移動の円滑性 （歩行者）	劣る	優れる	優れる
移動の円滑性 （身障者等）	優れる	劣る	優れる

確認事項

浦添市としての推奨案

第2案（推奨）

- ・ アリーナ正面の空間を最も広く確保することが可能。
- ・ 正面ゲート右側の空間を確保することで、今後の多目的利用が可能。
- ・ 身障者用スロープの導線について、往復を減らすよう改善することで、移動の円滑性の解消が可能。（今後、利用者の意見を反映するよう検討）
- ・ 新たな運動公園の顔として、正面ゲートを体育館正面側に位置。（公園全体を顔とする第3案のような正面ゲート移設も可能）

確認事項 （議論いただきたい点）

①既存駐車場の連結路について（アリーナ前の空間の有無）

②身障者用スロープの導線について

- ・ 各案は正面ゲートから新市民体育館への擦り付けが可能か検討を行うための図面である。
- ・ 基本条件の整理や、検討委員会の意見等を踏まえ、基本構想・基本計画策定後に実施する基本設計にて、詳細な検討を行っていく。
- ・ 新市民体育館の設置位置及び地盤高さ等は変更できないため、そこを中心とした擦り付けを行いながら検討を行う。

今後の浦添運動公園の再整備については、基本構想・基本計画に基づき、庁内関係部局との連携や再整備検討委員会への意見聴取、市民等の意見を踏まえながら、目指す将来像の実現に向けて取り組んでいきます。

